

第1の封印

アメリカ合衆国、インディアナ州、ジェファーソンビル
1963年3月18日

1 1さあ頭を下げしてお祈りしましょう。

天のお父様、今夜にこのもう一度礼拝する機会を感謝します。生きていることそして、私たちの内にあるこの永遠の命の偉大な啓示があることを感謝しています。そして、今夜、お父様、世の初めから隠されてきた大いなる奥義を学ぶためにここにいます。

小羊がそれを私たちに明らかにする唯一の方であり。

彼が今夜私たちの中に来られ、彼の御言葉を持ってそれを私たちに明らかされることにより。私達がこの終わりの時にあって、より良い僕になる方法を知ることが出来るように祈ります。オー神よ、今が終末であることが分かることにより、我々の場所を知ることが出来る様に助けてください、主よ、我々は弱い存在です、そして間違いなく主はまもなく帰って来られます。それをイエスの聖名によってお祈りします。

アーメン。

私は、ダビデが言ったことだと信じています。

「彼らが私に言ったとき幸せでした、私たちが主の家に入る事は。」

神の家に来るのはいつも大きな特権です。

そして、御言葉を共に学ぶことは、この大きな希望を与えてくれます。

2 さて、沢山の人が立っておられるので、できるだけ早く急いで話すつもりです。

しかし、私はこれらの最後数回あったように、あなたがたが聖霊のご臨在を楽しんだことを信じ確信しています。

そして今日、私は長い間経験していなかったことが起こりました。

私はここでこの封印が解かれることに関してのこの黙示録を勉強していました。

封印の開封の何年か前、私はここでそれをやりましたそれは約20年前だったと推測します。そのようなものですがありました、どういう訳か別のものに私はただちゃんと満足したことはありませんでした。特に、これらの封印は、その書物の全体だからなのです。

それが書物なのです。

その書物全体が封印された1冊の本です。その始まりは、

3 例えば、もし私がここに何かを持っていたら…私はあなたが何を意味するかを示します。

ここに1つの封印があります。

それは1つです…そして、あなたはこれのように巻き上げられました。

そして、あなたはこのやり方でそれを巻いて、最後にそれのように突き出した部分があります。

それが第1の封印です。

大丈夫です。

それがその書物の最初の部分です。そうです。それからそれがその書物の最初の部分となりました。

それから、次の封印は、このように、その端から右に巻かれます。

そして、このように、このように巻かれています。そして最後に、ここにもう1つの封印があり、それは2つの封印を意味します。次の封印は、この方法で右の側面に巻き返されます。そしてこの方法では、このように巻き上げられます。そして最後に、ここで別の突出しがあり、これは2つの封印を意味します。聖書全体が巻物に書かれた方法で、そしてこれらの封印を解くことは、聖書の奥義を開くことになります。

4 あなたはエレミヤ書を勉強し始めましたか、どのように彼がそれを書きましたか(あなた方の内の多くは昨晚それを学びましたよね)?どのようにしてそれらの封印が書かれ彼の70年間の監禁から戻ってくるまで、置かれていたのでしょうか??彼は戻ってきて、彼の所有権を主張しました。

そして私は確かにあなたができないことを述べたいと思います…それは永遠の言葉であるため、すべてを表現する方法はありません。

それは永遠の書物なのです。

したがって、私たちは高いところを叩いているだけになります。

そして今日の学習の中で、私はあなたがそれを勉強できるように多くの聖句を書きました。

そしてあなたが勉強していくうちにテープの中でも多くのことが明らかになるでしょう。

5 もし私がただこのこの演台に立って、部屋の中で私に明らかにされる方法をあなたに明らかにすることができれば、それは素晴らしいでしょう、それは非常に多くのことがあります。

しかし、あなたがたがここに来ると、忙しいのです。そしてある意味ただ

物事を飛び越えて、彼らが分かる様に人々に主要な部分だけを話せるようにしています。

6 私は確かにアングレン(Ungren-翻訳者-)」兄弟がちょうど歌ってくれた『彼の栄光から降りた DownFrom His Glory』(DownFrom His Glory -賛美タイトル[翻訳者]-)歌を感謝します。もし彼が彼の栄光から降りて来なかったならば、私たち皆は今晚どこにいるのでしょうか?私たちを助けて下さるために降りて来て下さったに感謝しています。

7 さて沢山の人達が立っているので、できるだけ早くここを急いで見ていきましょう。

私たちはただ駆け抜けるつもりとは言いませんが、私たちはできるだけ早く始めるつもりです。

そして、今、私たちは聖書を開きましょう、…私たちは第1章、2章、3章位、そして4章:5章まで、昨夜は読みました。

そして今夜は黙示録第6章から始めていきます。

さてこの章を学びながら 聖書全体がイエス・キリストの啓示であるため、旧約聖書と新約聖書の両方、を使ってさえも異なる場所を見ていきます。

それは、要するにイエス・キリストの啓示であり、主イエスの啓示です。

書物の中でキリストを通して神ご自身を明らかにされるのは神なのです。

キリストは神の啓示なのです。

彼は神を表すために来られましたというのは彼と神が同じだったからです。神はキリストの中におられ、世界をご自身と和解させされたのでした。

言い換えれば、キリストを通して御自身を明らかにされるまで、神が何であるかを我々が知る事は決してないでしょう。

それから分かる事でしょう。

私は以前、数年前ですが、神は私に怒っていたかもしれないが、キリストは私を愛していたと思っていました。

しかし、それは同じ存在なのです。

来て見つけて下さい。それは同一人物です、そうなんです。分かりますね。

そして、キリストこそが神の心の真髄です。

8 そして今、私たちはこれを研究して、今それを比較しています…黙示録の最初の3つの本(聖書の)私

たちはそれをかなり徹底的に熟考しました。

すなわち、教会時代、7つの教会時代です。

今度はさて、7つの教会時代、7つの封印、7つのラッパ、瓶、そしてカエルのような汚れた霊があります。

そして、これはすべて一緒になります。

なんという、分かっている様にすごく大きな地図を全体に描きたいと思っているか一つ一つの場所を取りたいとただそう感じているのは、ご存知の通りです。

私はそれを小さな紙の上に描いていましたが、それで……今までのものはまさに正しいものであり、時と時代とともに移り変わり彼らは来たり行ったりしてしまい全てのことがただ正しくブレンドされていました。

だから、それは一緒には正しくないかもしれませんが、しかし私がそれについて何とか知っていることに関して言えば最高のものなのです。

そして、もし私がベストを尽くせば、私はベストを尽くして、私が知っている最高のことをしようとするれば、間違いを犯します、もし間違っていればその間違いに関しても、神は間違いなくそうすることを許してはくださるでしょう。

9 最初の3つの書物は最初の7つの教会時代であり、次に黙示録第4章でヨハネが見ている者が分かりますね。

我々はその教会達を見えています。

教会の時代についてはあまりここでは多くは触れません。

人々がとても驚くようになると思うところがあります。

彼らは、教会のやり方を艱難の中で、起こったこととして適応しています。

そして、日曜日(昨日)に言ったように、「最初にその艱難が起こることはわかっています、そして、あなたはなぜ…ではないのだろうか?と最初の来るのは携挙でした。それは起きているようにそうなるでしょう。

それは過去であり、あなたはそれを知りませんでした。

さて、その教会に約束したことはあまりありません、その異教徒の教会、花嫁。

10 さて、心に留めておいてほしいのは、教会と花嫁があります。

3つの数字あなたは常にそれを3つにする必要があります。4は間違いです。3、7、10、12、24、40、50は破られていない数字です。聖書は…、そして神はその聖書の中にある数字でメッセージを出します。あなたは何かの数字から飛び出したものを手に入れて、それを気を付けて集中してみてください。

次のものはすぐには、出てこないでしょう。そこに戻ってこの始めた場所に戻ったほうがよいでしょう。

11 ヴェイル兄弟、リー・ヴェイル兄弟(-LeeVayle 翻訳者)、彼はここにいると思います。。

私たちは先日、外れてしまっている人々について話していました。

それは標的を撃つようなものです。もしその銃が完璧に均衡し、

訓練を受けて目撃された場合、バレルの動きやひねり、振動がそれを動かしきるかどこかに行ってしまう限り、的を撃てるはずなのです。

それが始まるいかなる場所でも、たった一つのやり方しかありません。

その道を外した場所を離れて戻ってきて始めるのです、そこでの的に当たるのであればです。

もしそうならないのであれば、理由はなくただ的に当たらないということなのです。

12 私が信じる聖書を研究する方法がそれなのです。

私たちがここで何かを見つけ始めたら、それは正しく出てこないのです、つまり

どこかで間違いを犯していたわけです。

あなたは戻らなければならない。

自分の頭では決してそれを見つける事はありません

それはただないのです。…私たちは聖書によって、天にも、地にも、地球の下にもいないこと、あるいは過去にも、あるいは今後もうでるようになる存在がいけない事を知りました。

小羊だけがそれを行うことができます。

ですから、神学校の説明は、それが何であっても、まったく何ともありません。

それを明らかにするには小羊を必要とします。

それがすべてなのです。

だから、イエス様が私たちを助けてくださることに信頼しています。

13 ヨハネは、第4章(ヨハネの黙示録-翻訳者-)」で、ありとあらゆることを見て、来るべきものを取り上げました。

しかし、教会は第4章で終わり、キリストは教会を取り上げて空中において彼に会うところになりました、そしてその後第19章まで現れません。

彼が教会と共に王の王、主の主として復帰し再来するとき。

そして、今、…ああ、私はいつか、おそらく彼が来る前に、それを全部学べるように願っています。

もし私たちがしなければ、私たちはそれをどうあっても分かることにはなるので、問題ではありません。

14 さて、この第5章(ヨハネの黙示録-翻訳者-)では、これらの封印の開封を解きました。

そして今、7つの封印の書…まず、第1の封印を読みたいと思います。

昨晚(背景を少しだけ)、ヨハネが見て、その巻物がオリジナルの所有者である…神の手の中にあるのを見たとき、それが失われたことを覚えていますか？アダムによって、彼はサタンの知識のためにいのちの書を失い、彼の遺産を失いました。彼はすべてを失い、贖いの道を失いました。

人間に似せて作られた神が下って来て、私たちを贖うための贖い主になるために来られたのです。

そして今、私たちは、過ぎ去った日々に、これらの不思議な事柄だったものが終わりの日々に開示されていたことを知るのです。

15 彼はただそのことを知っていただけです、その時には贖いの機会はなかったのです。全ての物が失敗をしました、そしてすぐに、我々は、彼が泣いてすぐに止めたのも分かりました。というのは、4つの獣の内の一つが通知したからでした、一人の長老が言いました。「ユダ族の獅子が勝利するからヨハネよ泣くな」つまりは、克服して勝つのだと言う事なのです。ただそれを考えてみてください！全く誰もそれを見る価値がありません。

16 ヨハネが開いているとし、彼は小羊が出て来るのを見ました。血まみれになり、傷つき負傷していることに間違いはありません。子羊は殺されていたのです、そしてまだ血を流していました。もし、子羊を切って殺したならば、その方法でその子羊もされていたのです。…それは十字架の上に断片的に切り刻まれ、横槍があり、手足に釘付けにされ、眉の上に棘があります。彼はひどい状態にありました。

そして、この小羊が出てきて、王座に座っていた彼に行って、それは救いの完全な象徴であり、小羊は行って、座っている彼の手から巻物を取り出しました。

そして封印を解いて、書物を開いたのです。

それが起こったとき、素晴らしい事が天国で起こったに違いない事が分かりました。長老たちのために…天国で行われました。24人の長老達、獣、そして天にあるすべてが泣き始めました。

「ふさわしい物」そしてここに天使たちが来て、聖人たちの祈りのバイアルを注ぎ出しました。

祭壇の下の聖徒たちは叫びました。

「あなたがふさわしい方、わたしたちを贖ってくれました。

あなたが私たちを王や司祭にして下さいました、だから、私たちは地球を支配します。」何と素晴らしい！
彼が巻物を開いたその時なのです

17 ご存じのように、その書物は世の創造の前に計画され書かれていました。

この本- 聖書 -実際に、世の創造前に書かれていました。

そして、小羊であるキリストは世の創造前に殺されていました。

そして、彼の花嫁のメンバー達は、世の創造の前に、その名前は小羊のいのちの書に入れられていました。

しかし、それは封印されており、今は明らかにされているのです。

それについてのすべてのその名前はそこにありました。

それについてのすべての事。

本当に素晴らしいことです。

そしてヨハネはそれを見たとき、天のすべてと、地の下のすべての物が言いました。

すべての人が彼の言葉を聞いて言いました、「アーメン、祝福と栄誉！」

小羊がそれにふさわしい方だったので、彼はただ素晴らしい時間を過ごしたのです。

18 そして今、小羊は、この第6章(ヨハネの黙示録-翻訳者-)に我々が入っていくので今夜今立っているのです。

彼は手に巻物を持っていて、それを明示させ始めるのです。

そして、ああ、私は絶対に今日もつ事になるはずです。そして私は人々が霊的であることを望んでいます。もし、12時くらいに聖霊が部屋に来て、書いているものを直すように言ったことに従わなかったら、すごい間違いを犯していたことになったでしょう。私は第2の封印が何であるか分かりません。それ以上何もありません。何年も前に話したことのある古い文脈がいくつかあり、それを書き留めていました。そして私は、この文脈を、スミス博士、多くの私が集めた素晴らしい教師の皆さんからの文脈を集めていました。そして彼らのすべてがそれを信じていたので、私は書き留めました。

そして、私はそのような観点からそれを研究します。そして私は言いたいことをまとめてそして、その日のおよそ約12時には、聖霊がちょうど部屋の中にまっすぐに入って来られました、そして、すべてが私に対して解かれたのでした

この第1の封印が開かれました。

19 私は今夜ここに立っているのと同様にこれに対して肯定的なのです

これが今夜あなたに示す福音の真実です。私は正にそれが分かっているのです。啓示が御言葉に反するならば、それは啓示ではないからです。

そして、ご存じのように、いくつかのものは絶対に真実に見えるが、それでも真実ではない。それはその様に見えますが、そうではありません。

20 今、私たちは聖書で本との小羊を見つけます。

そして今、第6章で私たちは読みます、

そして、小羊が封印の1つを開いたとき、私が見ていると、4つの生き物の1つが雷のような声で「きたれ」と呼ぶのを聞いた。

そして見ていると、見よ、白い馬が出てきた。そして、それに乗っている者は、弓を手に持っており、また冠を与えられていて、勝利の上にもなお勝利を得ようとして出かけた。(ヨハネの黙示録6章1節口語訳-翻訳者-)

21 さて、これは第1の封印です。

私たちは、今夜それを説明するために神の恵みによって試みるつもりです。最善の方法で…

あなたが何をしているのか分からないなら、それを説明しようとしている男が危険な場所を歩いていることに気付いています。

それで啓示によって来たら、私はあなたにそう言います。

もし私がただ自分の心の中でそれを取らなければならないなら、私はそれについて話す前にそれを伝えます。

しかし、私は今夜ここに立っているのと同じくらいポジティブな自分自身がいます。

今日、全能者から、私は聖書のこの部分に来るときにそういったことを言う傾向がありません。

私が今話していることが分かっているならば幸いです。

ご存じのように、起こる前に何かがここに置いていると言うことはできません。

何かをそこに置くまでそれを言うことはできません。

わかりますか？あなたは読んでますか？あなたは何かを聴いていますか？

22 さて、七つの封印の巻物は、小羊によって公表されています。私たちは今夜その場所に近づきます。神が私たちを助けます。

封印が解かれて公表されると、書物の奥義が明らかになります。

さて、あなたは封印された書物だと分かります。今我々はそれを信じていますよね？[会衆は言います、「アーメン」と]私たちはそれが封印された書物だと信じています。

今、私たちは以前これを知りませんでした、それはですそしてそれです！

その書物は7つの封印で封じられています。

23 もしこの種の書物について話していたら、紐を七本の紐で挟むようなものでしょう。

しかし、それはこの種の書物ではありません。

それは巻物です。そして、巻物が巻き戻されると、それが1つです。

巻物の右に横たわっているのは2番目です。

ここにはそれが何であるかが記されていますが、それは奥義なのです。

しかし、なおいつそう私たちはそれを探求しましたが、しかし覚えておいてください、書物は封印されており、書物は啓示の奥義のものです。

それはイエス・キリストの黙示です、そうです、聖書のヨハネの黙示録。わかりますね、そして今、あなたはその時代を通してご存知ですね、人はそれを探求し、それに着手しようとしてしました。

我々は全てを持っているのです！

24 そして、さらに…

一度覚えています。もしボハノンさん(Mr.Bohannon)がおられるか、または彼の人々の何人かがおられるならば、私はどんな屈辱をしようという意味ではありません。ボハノンさんは親友で、公共サービスで私が働いていた時監督をしていました。私がそこで働いていた時。

私が最初に救われたとき、私は彼にヨハネの黙示録を読むことを話していました。そして、彼は言いました、「私もそれを読もうとしました。」彼は言いました…。ボハノンさんはいい人でした。

彼はその教会のメンバーでしたが、私は彼がどこに属しているのかは知りません。しかし、彼は言いました「ヨハネはその夜、赤いコショウ、赤唐辛子の夕食を食べて満腹で寝ていたに違いないと思っています。」

25 私は彼に言いました。(私の仕事を犠牲にしたかもしれませんが)「あなたはそんなことを言って恥ずかしくないのですか？」

私はちょうどほんの少年でしたが、私は言いました、「あなたは神の御言葉についてそんなことを言うのを恥ずかしくないのですか？」しかし、私はほんの子供だっでした-多分21-22歳でしかありませんでした。そして仕事不足で不景気でした。しかし、それでもそこには恐れがありました偏ったものの見方をしていた時…、神の御言葉について傾いたものに対して、それは真理です!すべての真理なのです!

なので、夢でも悪夢でもありませんでした。

それはヨハネが食べたものではありません…彼はパトモスの岩の上にあったので、神の御言葉を本の書式に入れようとしていたので、ローマ政府によってそこに追放されました。

そして、主の日に島にいました。

彼は多くの水の声を聞きそして見に行くと、7つの金の燭台を見ました。そして神の御子とその間に立っていました。

26 さて…そして、その書物は黙示です。だから、黙示録は何かを知らせる為の何かの為に作られたものとして、知られています、何か明らかにされたものです。そして今、(それを忘れないように注意してください)それは後の時まで閉じられていました、分かりますね?そうです、その全体の奥義は後の時まで閉じられます。

ここにその聖句があることが分かります。

27 さて、封印が解かれたときに、その書物の奥義が明示されました。

そして、封印が完全に解かれたとき、贖いの時は終わっていたのです。

なぜなら、小羊は仲裁所から彼の要求を受け取るために歩き出すために仲裁の位置を去ったからです。

彼は仲介者だっでした。

しかし、封印においての実際の啓示が起こると解かれ始めて、小羊は聖所から出てきます。

それは御言葉によるものです。私たちは昨夜それを読みました。彼は真ん中から出てこられ、その書物を取りました。だから、彼はもはや仲介者ではありません。

なぜなら、彼らは彼を獅子と呼んでいて、そうすると王ですから、仲介者ではないのです。

28 これらの封印の行動者たちは初代教会時代から始まりますが…さて、覚えておいてください、できるだけ完全に徹底的に、あるいは可能な限り徹底的にその背景を覚えていられるでしょう。

俳優…私は俳優は仮面を変える男なので、私はその様に設定します。

この行為では、今夜、サタンが仮面を変えていることを見ていきます。

そして、すべての俳優…キリストは、御霊から人になったときに行ったことを行い、彼はただ俳優の衣服を着け、人間の肉を着て、同族の人の救済者になるためには人間の形で下っただけです。

29 さて、見て下さい、それは唯一俳優の形なのです。

それが彼らがすべてたとえ話の中にいる理由です、そして彼らが獣や動物のような状態でここにいる様子です。

それは演技なのです。

そして、これらの俳優たちは、初代教会の時代から始まります。

なぜなら、キリストは7つの教会時代に自分自身を明らかにしていたからです。

分かりますか？大丈夫。そうです、

キリストが7つの教会の時代に自分自身を明らかにしています。見てください。そして、これらの教会時代を通して、大きな混乱が起こります。

それから教会時代の終わりに、第七の御使いのメッセージが、これらの失われた奥義を拾い集めて教会に伝えるのです、そうです。私たちは気づくでしょう。

30 しかし…、本当の姿で明らかにされていないのです。さて、聖書の時代には、奥義があり、ヨハネがここでそれを見たようにこれらのことが起こるのが見えました。

今、彼は言いました、「そこに白い騎士がいる。」

しかし、その奥義は……騎士と共にあるものです。

さて、それは何だったのか、彼らは知りませんでした。

そしてしかしそれは明らかにされるべきです。

しかし、子羊が同族の人の贖い人として父の御座を離れると、それは明らかにされるのです。

31 私はここでちょっと驚かせるかもしれません。

今さて、もし誰かがこれらのテープを手に入れたら……誰でも自分の望む事を話すことができます。

彼には、彼の信念についての権利があります。

しかし、あなたもご存じのように、もし牧師が彼の民の中で、これを望んでいなければ、それを取らないように彼に言いってください。

しかし、これは私が話すように送られた人々の中で話すものです。

それ故、私は真理が何であるかを明らかにしなければならないのです。

32 さて、ここに戻って執り成しの時での小羊は、そこに世の初めからそこに書かれた名前があることを知っていました。

そして、彼らの名前がまだ地上に現れたことがない限り、彼は仲裁者としてそこにとどまらなければなりませんでした。

分かりますか？完全にあらかじめ定められていたのです、そうです。

さて、彼はそこにとどまらなければなりませんでした。神が定め選ばれた永遠の命のために、死ぬことになったからです。

彼は自分の予知によって、自分の意志ではなく、彼らを見ていました。

彼の意志は誰も滅びるべきではないが、彼の予知によって彼は誰が救われ、誰がを救われないかを知っていたからです。

それゆえ、地上で決して宣言されていなかった名前がある限り、キリストは、その名を世話するために仲介者としてそこに留まりまらざるをえませんでした。

しかし、その最終的な名前がそのクローオックスクロックス(洗剤-翻訳者-)や漂白剤に浮かび次第、彼の執り成し者としての日は終わりました。

「汚れた者はまだ汚れてままだにしてください。聖なる者はさらに聖なることを行うままだにさせよ」

そして彼は聖所を去り、それが裁きの座になります。その時キリストの外にいる人たちには災いとなります。

33 さて、気付いて下さい。しかし、子羊が執り成しの場所である父から去ったときに明らかになるのです。(これは黙示録 5章)。

さて、彼は封印の書、或いは封印の書物や封印された書物を取り、それらを解いて見せます...…見て下さい、今終わり時代に執り成しが終わった後、教会時代は終わっているのです。

彼は最初の時代に来て、エペソの時代、にその御使いを送り明らかにしました明らかにしました。私たちが進むにつれて何が起こるかに集中してください。

ここにその計画があります:最初に何かが起きると、天国で最初に通知があります。何が起こるのですか?封印が開かれるのです。それは何ですか?奥義が解かれています。そうです。そして奥義が解かれたとき、ラッパが鳴ります。宣戦布告されます。疫病が起こり、教会時代が開きます。分かりますか?戦争とは何のためのものですか?その教会の御使いは、まだ明らかにされていない神の奥義を捉えています。しかし、彼がそうすると、神のこの奥義を捉え、それから人々に向かって行きます。奥義が彼に与えられた後、人々に向かって行きます。

彼はそこで何をしていますか?彼はそのメッセージを宣言し始め、何が始まるのでしょうか?戦争です!霊的な戦争。

34 そして、その時、神はその時代の選ばれた人達と一緒に御使いを連れて、眠りについてゆき、それを拒否する者たちに疫病で一時的な裁きを起こします。

そして、それが終わった後、それから彼は続けます。

そして、彼らは名を挙げて宗派を持ち込み、ウェズリーと全ての他の人達と同じように宗派を始めるのです。

そして、それは全て再びガラクタになります。そして別の奥義が現れます。

それからどうなるのでしょうか?もう一人の御使いが教会時代に地上に来ます、そうです。彼が到着すると、ラッパが鳴ります。彼は宣戦布告をします、そうです。そしてそれからどうなりますか?そして終に彼は捕らえられました。そして、彼が横たわってしまったとき、疫病によって彼らが破壊されます。霊的な死が教会に襲い掛かり、あの集団の彼女は去ってしまいました。そしてそれは別のものに続くのです。

ああ、それは最後の御使いになるまでの素晴らしい計画です。今、彼は特定の奥義を持っていません。しかし、彼は他の時代で失われたすべてのものを集めます。真理はまだ明らかにされていません、そうです、その黙示が来るとき。

そして彼は啓示が来るのを見て下さい。それから彼はその日にそれらのことを明らかにされます。あなたがそれを読んでほしいなら、それはそこにあります:ヨハネの黙示録10章,1節~約4節のほとんどであなたは理解しますね。大丈夫。

35 見て下さい、封印の書物を取り、それらを解いて、7番目の御使いを示します。これ自身が神の奥義で7人目の御使いのミニストリーなのです。さて、教会時代を経て、それを証明する歴史さえあればいいのです。それは第7の教会の御使いのメッセージです。つまりは過去にあったすべての奥義、過去のすべての事柄を明らかにします。ヨハネの黙示録10章:1節-7節。そのようになります。

36 さて覚えておいてください、7番目の御使いの時に、彼が響き渡らせる、福音のラッパを吹き払い、神のすべての奥義を完成させる事になるのです...ちょうどここで初期の教会の時代に(私たちはしばらくしてから理解します)教義がが出てきます...それはまず言葉になり、その後教義になり、それが姿となり、教会となります。暗黒時代から、暗黒時代からを抜けて、ルターとの最初の改革がきます。

そして彼は教会時代の間に起こったあらゆる種類の不思議なことを彼に持ってきましたが(すべてのそこに戻って)、彼はそれを終わらせることはありませんでした。

そして、清めを持ってウェズリー(Wesley)に沿って、もう少し手に入れました。それでも決して終わりませんでした。バプテスマの代わりにただ水を振りかけるなどと、色々なところで、そして、ルターは「主イエス・キリスト」の代わりに「父、息子、聖霊」を採用しました。- これらの異なるものすべてにおいて緩めてしまいました。

37 聖霊のバプテスマでペンテコステの時代に来て、彼らはそれを信じに酔ってしまいました。今や、もう時代はありません。それはすべてです。それはラオデキア時代です。しかし、聖書の研究では、時代の終わり毎に、御使いが来ることがわかりました。パウロは時代の終わりに来ます。私達は時代の終わりに来るイリナエウス(Irenaeus)を見つけます;マーチン時代の終わりに、ルター、カトリック時代の終わり。そして、なんでしたか?ルター派の時代の終わりにはウェズリー、神聖そしてペンテコステ派は、時代の終わりに聖霊のバプテスマに、そして聖霊のバプテスマに、ペンテコステと、ペンテコステ派の時代の終わりに、わたしたちは御言葉によると受け取ることになっています、あなたがたがここで示すために神が私を助けてくださるように、私たちはそこに緩やかな終わり方がありすべて取って、神の全秘密を明らかにする事になっており御使いが受け取り、教会の携挙の為にそうされるのです。

38 それで、まったく書かれていない7つの神秘的な雷が出てきます!そのとおり!そして私は信じている猛烈な信仰のために花嫁と一緒にするためによう最後の日に7つの雷鳴が現れていると信じています。私たちが今得たものは、それをする事ができないからです。私たちはもっと踏み出すべきことがあります。神の癒しのために十分な信仰を得ることはほとんどできません。

私たちはこの地球の中から一掃されるために瞬間的に変化する信仰を持っていなければなりません。そして、主のご意志によってしばらく後に、それが書かれている場所を見つけます。

39 これらの邪悪なことをする人間たちのすべての裁き...さて、時代を通して、最これらの封印が解かれるまで...最後の封印が解かれるまで。そして今、彼らがこれらの封印を見て、彼らが何をしているのかをただ推測しているように今は教会時代の終わりに)、これらの邪悪な行為者たちはすべて胸を張って立ち上がります。患難期においてこれらの全ての教会で神秘的に働いていた7つの紋章封印のこれらの邪悪な輩...がいるでしょう。

これらの邪悪な輩は、教会で奇跡的な働きを7つの封印の中でそして我々は教会の名前のもとで働くことになります。

彼らは自分自身を教会と呼んでいます!

あなたは正にもしそれが正しくないなら正にそのように見るでしょう!どうして宗派に反対しているのか分からないのにしている理由が分かります。

彼らは最終的に...さて、ここでは軽い形でここに戻り、どんどん酷く悪化し続けます。そして人々が正しい方に行くまではその中に入って言います、悪化し続けます。「ああ、そうですね、これはちょうどいいです。」しかし、終わりの日にこれらのことを知らされています。そして、彼らは最終的には、彼らが最大患難期に直面するまで悪くなります。

40 どのようにして、人はキリストの花嫁が大患難に入ると言うことが出来ましょうか?私はそれを理解できません!彼女は大患難から逃げました。

もし教会が審判され、自分自身を判断してその血を受け入れた場合、神は完全に、完全に罪のない人をどのように判断できますか?あなたは言います、「そのような人はいません。」

真の信者である生まれながらの信者は、神の前で完全に、まったく無罪です。

彼は彼の作品行いを信頼していません。イエスの血の中に彼の告白を落とし込みました。彼の告白が落ちたイエスの血の中に。聖書はそう言います。わかりますか?

「神から生まれたものは罪を犯しません」彼は罪を犯すことが出来ません。イエス・キリストの血の漂白が彼と神の間にあるときに、あなたはどのようにして人を罪人にすることができますか?それは何もないまで罪を散らすででしょうか?彼は出来ません。

イエスは言われました、「あなたがたは天におられるあなたの父が完全であるように、あなたがたは完璧な者になりなさい。」(マタイによる福音書5章48節-翻訳者-)。

そして、どのように完璧であるという考えを始めることができますか?しかし、イエスはそれを必要とし、もしイエスがそれを必要とするならば、彼それはそのために道を作る必要があります。彼は彼自身自分の血を持っています。

41 さて、過去にあったすべての奥義を明らかにします。さて、ここで終わりの時に思考は、ずっと前に戻って、教会の時代を経て来た奥義は、この終わりの日に、仲裁の時が正にその時終わることについて明らかにされます。

裁きは後ろにいる人たちを待っています。彼らはその中に出て行きます。

それは、花嫁が連れさられて携拳された後の事なのです。

42 さて、とにかく聖書を読みましょう。

あなた方は皆、聖句のいくつかを置くのが好きですか?第2テサロニケへの手紙、ちょっとここで見てみましょう。

それはここでそのような美しい絵になります。私はそれが好きです。

さあ見てみましょう。

はい、第2テサロニケ人への手紙2章の7節がいいですね。

どれどれ。正しいと思います。さて、私はこれを震えながら書きました。

あなたがたはむしろ彼をゆるし、また慰めてやるべきである。そうしないと、その人はますます深い悲しみに沈むかもしれない。

誰?「彼は阻止している者」そうです、奥義について…教会時代の最初の教会時代での、不義の道に関する奥義に戻って見てください。

ここに、パウロが書いていること、不法の奥義…、不法とは何か?

邪悪なことはあなたがご存じのようにしてはならないことですがそしてご存知のよう知りながらなぜかしてしまっています。

そして、パウロは、今日、地上にこのようなことが起こる不法を働くものが起こると言っていました。

43 ああ、もしあなたが、理解するでしょう、…さて、それを読みましょう。3節から、先に少しずつ初めて行きましょう。

だれがどんな事をして、それにだまされてはならない。まず背教のことが起こり、不法の者、すなわち滅びの子が現れるにちがいない。(テサロニケ人第2の手紙2章3節[口語訳]-翻訳者-) [そうです]

彼は、すべて神と呼ばれたり拝まれたものに反抗して立ち上がり、

自ら神の宮に坐して、自分は神だと宣言する。

(テサロニケ人第2の手紙2章4節[口語訳]-翻訳者-) [罪を赦す]誰もあなたをどんな手段でも惑わしてはならない。最初に崩れ落ちることを除き、罪の人が明らかにされなければ、];神と呼ばれるもの、あるいは崇拝されるものすべての上に反対し、高揚する者。

神の宮に座って、神であることを自覚して[罪を赦す]、

あなたがたはまだあなたと一緒にいたとき、これらのことを言ったことを覚えていないのですか? [私は彼の教えのいくつかの下に座っていたい。

あなたは今の時代に明らかにされるかもしれないことを忘れています。

そうではない、わかります!そうではなく、しかし彼の時代にそうするのです。

そうではなく、その時ではなく、彼の時に、分かりますね、その封印を解くことで、それが何だったのか正確に分かるでしょう。この不義の人は誰ですか?この罪の人は誰ですか?不義を働いているこの人は彼の時代に明らかにされましたか?

44 不法の秘密の力が、すでに働いているのである。(欺きの者、人々を欺きに巻き込む):

・・・ただ彼(神)ご自身だけがそれをさせる、

彼が(教会、キリスト、その花嫁)をその道から連れて行くまで。

その時になると、不法の者が現れる。[彼の時に、封印を解いたもの時。

パウロは、「私の時ではなく、彼が明ら彼が明らかにされるであろうと、パウロが言っています、分かりますか?」

主が彼の口の霊と共に使い切るで消費するであろうか」と言っています]この者を、主イエスは口の息をもって[見て下いあれを]殺し、来臨の輝きによって滅ぼすであろう。[私たちはしばらくしてそれに行きます]

(テサロニケ人第2の手紙2章8節[口語訳]-翻訳者-)

不法の者が来るのは、サタンの働きによるのであって、[彼の、彼の、人間、不法の者が来たのはサタンの働きによる]あらゆる偽りの力と、しるしと、不思議と、(テサロニケ人第2の手紙2章9節[口語訳]-翻訳者-)

また、あらゆる不義の惑わしとを、滅ぶべき者どもに対して行うためである。彼らが滅びるのは、自分らの救となるべき真理に対する愛を受けいれなかった報いである。(テサロニケ人第2の手紙2章10節[口語訳]-翻訳者-) [この花嫁ではなく、そのようなものを探している者]

そこで神は、彼らが偽りを信じるように、迷わす力を送り、(テサロニケ人第2の手紙2章11節[口語訳]-翻訳者-) [偽りによって人々を欺く]

こうして、真理を信じないで不義を喜んでいたすべての人を、さばくのである。(テサロニケ人第2の手紙2章12節[口語訳]-翻訳者-) [私は辞書を見ているように、そこに翻訳されるべきである、

「嘘」。

「うそ」ではなく、「嘘」- 彼はエバに語った。

それは、真理を信じなかった所以他们はだめになったが、不義を喜んだからである。

45 なんとという声明でしょうか!なんとということ!花嫁が連れていかれた後、この罪の人は彼自身を明らかにするでしょう。

彼女、本当のキリストの花嫁は全ての教会時代から選出されました。

さて、先日私は花嫁は家に帰れて、決してそれについて何も知らないであろうと発言しました。それは真実です。

誰かが言っていました、「まあ、ブランナム兄弟、それは強力な小さなグループになるでしょう。」イエスは言われました。「ノアの時代には、[彼に今そのことについて話します。]8人の魂が水で救われたのです、人の子が来る時にそうです。」

46 もし今夜携挙に800人行ったならば、あなたは明日、或いは翌日に、それ以外の時にその事について聞くことはありません。彼らはいなくなり、あなたはそれについて何も知ることがないでしょう。それはちょうど同じ様になります。

私が言おうとしていることは何でしょうか?私はあなたを怖がらせようとはしません、心配させようともしていません。私はしっかりしていて欲しいです。毎分、準備をしてください。ばかばかしいことはやめて

下さい。思っているよりも時間はあるので神との仕事をただしっかりやりましょう。

47 さて、覚えていてください、本当の花嫁…を、偽りの花嫁がいます。我々は

黙示録17章でそれが分かります。

彼女は「私は未亡人であり、何も必要はありません。」、緋色の獣などに座っている、など(あるいは獣自身)。しかし、真の花嫁は数千人の人々から構成されます。

しかし、それはすべての教会時代から選出されるでしょう。

メッセージが出て、人々がそれを信じて、それがすべての光の中で受け入れられたとき、それは救いの日まで封印されました。

イエス・キリストは話しません。彼が言ったときと同じことは、「音は第7番目に来る。」

それが最後の教会時代です。そうです。

そして言いました、「見よ、花婿が来る、彼に会うために外に出よ。」て、眠っている処女が来て、彼女の目を撫でて言いました、私もその油を持っているべきだと思います。

だから、私は持っているほうがいいかもしれません。

真の花嫁はそこに立って、言いました「私たちは本当に自分自身のために十分でありました。私たちはあなたに何も与えられません。もしあなたが多く望むなら、祈りに行きなさい。」

48 そして、彼女がいなくなったときに、花婿が来て、花嫁に行きました。そしてそこに残っている人たちがいて、絶対に処女である者、教会は外に逃げました!そして彼は言いました「あつた教会は外に出ました!泣いたり、歯噛みをしていました」と言いました分かりますか?

さて、それは選民です。

そして、音が聞こえてきて「花婿が来ます」と、そしてそれらの時代を通して眠っていた一人一人すべてが目覚めました。

49 分かりますね、それは神ではなく、神は、私たちが考えるように、この時代の数千人の人々を連れて行くつもりです。

それはすべての時代から正に選出された人です!そして、それがキリストがのその仲裁者としてとどまっていなければならない理由なのです。終わりの時代に最後の一人が来るまで仲裁者でおられるのです。

そして、これらの啓示は、その時、それが人々に解かれていたもので、何が起こっているかが見えます。あなたは今それが分かりますか?

50 それでは、注意してください、死んだ教会員の残りの人たちは、千年が過ぎるまで再び生きることはありません。

教会の会員、キリスト教徒、その教会は、千年の終わりまで再び生きることではなく、そしてその時彼らは花嫁の前に立ちます。そのとおり。王と女王の前に立つのです。栄光!

いくつかの教会は今日、自分自身を「天国の女王」と呼んでいます。天の女王は選ばれたキリストの花嫁であり、彼女は彼と共にいます。ダニエルはそれを見て言いました:「万人かける十万人が彼に仕えた。」と

さて、もしダニエルの聖句を見れば、裁きは下され、書物が開かれたのです。

51 さて覚えていてください、彼が来るとき、彼は彼の花嫁と共に来ます。

その妻は彼女の夫に奉仕します。

そして、万人かける万人が彼に仕えました。

裁きが下され、巻物は開かれ、別の書物が開かれました。それはいのちの書でした。

全く花嫁ではない!彼女は行って帰って来て、福音のメッセージを拒否した世代の人々の裁きの為にそこに立っていました。

イエス・キリストは言わなかった「彼女の裁きの日に、南の女王はこの世代と共に起き、この世代を非難するでしょう。この世を非難するソロモンの知恵を聞くために、世界の至る所から来たからです。

ソロモンより大きいのはここにいるのです。」

52 ここに裁きがあるのです。南のシバの女王が裁きに立っていました。

彼女自身の証言(ユダヤ人でもない)ユダヤ人の世代が出てきて、彼らは目が見えなかったのも、彼らは彼を探していたのですが、彼はとても単純に来て、その偉大な女王は、自分自身を謙虚にして来て、そのメッセージを受け入れました。」「そして、彼女は裁きに立つだろう」と彼は言いました。

「そして、その世代を非難する。」と

53 さて、あなたは常に3つの種類が常に見見えていますか?その書物で死人は裁かれました。もう1つの書物-いのちの書に名前がある人達。

あなたは言います「あなたの名前が命の書にあれば大丈夫ですか?どうですか?いいえ!

見てください、イスカリオテのユダはいのちの書に彼の名前がありました。

今では間違っていると言います!イエスは、マタイによる福音書10章でイエスは、悪魔を追い出す力を彼らに与え、病人を癒すために彼らを送り、ライ病者を清めて死者を生き返らせました。彼らは出て行って帰りました。ユダは彼らと一緒にいました。そして、彼らは悪魔を追い出し、あらゆる種類の奇跡を起こして戻ってきて、「悪魔たちでさえも私たちに服従している。」と言いました。

イエスは言いました、「悪魔があなたに服従するのを喜ばないでください、そしてあなたの名前が天にユダに書かれているので、」悪魔はあなたに服従するのを喜ばないでください。そしてイエスは彼らと共におられました。

しかし、何が起こったのですか?選出されたグループに来て、聖霊降臨節でそこに上って、本当に聖霊を受け入れると、ユダは自分の姿を見せました。彼はそこで裁かれるでしょう。

だから、その書物が開かれ、いのちの書が開かれ、そしてすべての人がこのように裁かれました。

今、花嫁はそこに立って、キリストと共に世界を裁かなければなりません。

54 パウロは言いませんでしたか。「あなたたちは敢えて[花嫁に話している]お互いに悩んでいる対してなんらかの問題や苦情があります。それなのであなたは不当な律法に行くのですね。聖人たちが地上を裁くことを知らないのですか?」あなたはそこにいます。聖人たちは地球を裁くとそれを引き継ぐつもりです。その通りです!

あなたは言います、「そのような小さな集団がどの様にあるのでしょうか?」…私はそれがどうやってやろうとしているのか分からないけど、しかし彼はそれはやるつもりだと彼は言いました。そして私は知っている限りそれをはっきりさせます。

55 さて、死人の残りの人に気づく(教会員:死んだ教会の会員)は、千年前には生きられませんでした。そして千年の間に彼らが集められました。第2の復活である別の復活が来て、彼らは集められました。

そしてキリストとその教会、花嫁(教会ではなく)が、キリストと女王(教会ではない)、キリストと花嫁(教会ではない)はそこに立っていました。そして、彼らは山羊から羊のように分かれていました、そうです。そこに上がって来た教会員がいます。

そして彼らが真実を聞いて真実を拒否した場合、そこから何が起こるか言いました、あなた自身の考えがそこにあるときに、大きなことがキャンバスに広がっているとき、あなたが思ったことそれについてあなたはそれについて何を考えましたか?あなたはどのようにして逃げようとしていますか、それは神の偉大なテレビの空のキャンバスにあります。あなた自身の考えが反抗していますか?…あなたの考えは、その時にあなたに対し

て語りますでしょう！

だから、もしあなたが一つのことを話して、別のことを考えたら、それをやめるほうがいいです。神についてのあなたの考えを得る。それらを純粋に保ち、そこにとどまり、常に同じことを話してください。「まあ、私はそれを信じていると言いますが、私は見つけ出すでしょう。」と言ってはいけません。

あなたはそれを信じています。アーメン。

56 注意してください、これらのタイプ、彼らが死ぬ理由は、実際には血の下にないので、彼らは試練を掃除する裁判を撤廃することを通しています。

彼らはそうだと主張しますが、そうではありません。

どのようにイエス・キリストの清めの血は、罪のすべての症状をあなたから取ると、あなたから離れてそれらを浄化するために、裁きを通してすることができますか？そして、あなたはすでに死んでおり、あなたの人生は神を通して隠され、そこに聖霊によって封印されていますか？

何のために裁かれるつもりですか？いつ清めを得るつもりですか？完全にキリストにいますとき、罪のない者から、あなたは何から浄化されなければならないのですか？何のための裁きですか？

しかし、それが眠っている集まりで上手くいくことが出来ない人たちです。

57 さて、彼らは何年もそれをしていませんでしたが、これは啓示の時なのです。、そうです、花嫁が近づいたときに明らかにされ、終わりのものを巻き上げ、最後のものが来て、それは終わりになるのだと私は信じています、友たちよ。

いつかは？私は知りません。

私は話すことはできませんが、何か……私はもし今夜のようであればに生きたい、準備ができています。

彼は今夜来るかも知れません。

しかし、彼は20年間来ないかもしれません。

私は彼がいつ来るかわからないが、いつでも…そして私の人生は今夜終わるかもしれない。

それで私がここでやったことは、その時に終わります。

私がここに降りたように、私は裁きで彼に会わなければなりません。

木が傾く方法は、それが落ちる方法です。

58 覚えておいてください、彼らがオイルを買うために行ったとき、彼らは…「ああ、」あなたは言います、「今、少しお待ちください、ブランハム兄弟。

そのことについて分かりません。」

彼らがオイルを買いに行く時、帰ってきて、花嫁は去ってしまい、ドアは閉まりました。そして彼らはノックして「私たちを中に入れて、中に入れて」と言いましたが、彼らは外の暗闇の中にいました。

さて、あなたがその種類を望むなら、今見てください：「ノアの時に、」イエスは言いました(それを参照してください)。さて、ノアの時代、彼らは方舟に入りましたが、彼らは裁きの時代に持ち越されました。しかし、それはキリストの花嫁を分類しませんでした。

エノクのタイプの花嫁でした。

エノク…ノアは花嫁を通り抜け、艱難期を経て苦しみ、酔って死んだのでした。

しかし、エノクは500年前から神の前を歩いていて、敬虔な信仰で神を喜ばせたという証がありました。

正に歩き始めると、空を飛び越えて帰ってきました。

死を味わってなくて。彼はもはや死にません！

59 彼は生きていて、眠っている同じ種類の人々を防ぐ(または妨げる)ことのない私たちと同じ種なのです。

人間の時代に眠っていました。

彼らはそこで死にましたが、彼らは死んでいません。彼らは寝ています！アーメン！彼らは眠っています。死んではいません！そして、たった一つ必要なのは、花婿に起こされることです。

「生きている人は、すでに眠っている人を妨げません。神のラッパが鳴り、キリストの中の死者が最初に上がります。

生きていて残っている私たちは、一緒に登り、空中で主と会うでしょう。

」

「そして、死人の残りは千年も生きられませんでした。あなたはそこにいるのです。」彼らは苦難の時代を過ごしました。それは何でしたか？

エノクのように。

60 ご存じのように、ノアはエノクを見ましたが、エノクが行方不明になったとき、彼は裁きが手元にあることを知っていたので、彼は方舟の周りにぶら下がっていましたが、ノアは上げられませんでした。彼はただ少し肩を持ち上げて、その苦難の上に乗りました。彼は死ぬために、艱難期を通じて運ばれました死にました。わかりますか？しかしノアは運ばれましたが、エノクは死ぬことなく昇天された、教会のタイプであり眠っている人に巻き込まれていて、空中で主と会うために、残りの教会は患難期に引き継がれます。私自身ではそれ以外に何もすることはできません。エノクは死なずして携挙されました。

61 さて、少し勉強を始めましょう。

ここでは、私はこの封印に入ることは決してないと思っています。

さて、気をつけてください。手に入れましょう、今…

長い時間を過ごそうとしているので

明日の夜や翌晩、ラッパが封印と同時に鳴ってしまうかもしれませんので、ラッパを今すぐ叩いてください。。

それはちょうど同じことです。

教会時代が始まります - それはまったく同じことです。

62 さて、ラッパは常に戦争を意味し、もしくはそれ以外は政治妨害、ラッパは政治妨害で、それは戦争の原因となります。

あなたが政治を混乱させるようになると、それらをすべて混乱させられます、我々が今それを持っているように、見てください。

戦争が始まるのです。

しかしみてください、王国は依然としてサタンに属しています。

彼はまだなぜこの部分を手に入れているのですか？それはキリストによって贖われました。

しかし、彼は同族の救い主の一員として、彼の家来たちを取って、最後の人の名前がその書に置かれるまで既にそれを受け取って、封印されています。

さて、分かりましたか？

それから彼は御座から来て、彼の父の御座から、前方に歩いて、王位から神の手から書物を取り出し、

彼の権利を主張します。

彼が最初にするのは、彼の花嫁を求め呼ぶことです。

アーメン!それで彼は何を取るのですか?彼は敵であるサタンを連れて拘束し、火の中に投げ込みます。

すべての人が彼に従っています。

さて、覚えておいてください、ロシアではありませんでした!いいえ、反キリストは滑らかにしゃべる人間です。

彼がどれほど滑らかであるかを見てください。彼は賢いです。その通りです。

それは聖霊だけを必要とし、そのみが彼を超越することができます。

63 注意してください、ラッパは政治的な外乱、戦争を意味します。

マタイによる福音書24章、イエスはそれについて語りました。

彼は言いました、「あなたは戦争の噂を聞くでしょう…」そうです、すべての方法を参照してください。

あなたは、「戦争、噂、戦争、噂と戦争」と言っているイエス様を覚えていて、最後まで鉛直に下ろしてください。

さて、それはラッパの音です。

今、私たちがラッパに乗るとき、そこに戻って、それぞれの戦争を拾い上げて、彼らが教会に従ったことを示します。

これらの封印に従うことを示します。

戦争と戦争の噂。

しかし、トランペットは政治的混乱を意味します。分かりますね。

封印は宗教的な騒動を扱いますね。

封印が開かれているのを見て、メッセージが降りてきました。そして、教会は常にそれ自体の政治的なやり方で、何よりも、そしてすべての高官たちのように設立され、その本当のメッセージが来ると、御使いが出て行き、彼はそれらを解いて振ります。

そのとおり。封印が開かれた時、それが宗教的騒動になるのです。

それは何が起こったのです、はい。

64 彼らはすべてシオンで安らかになります。

教会はすべて落ち着きますそして…「私たちはすべて到達しました。」

まさに英国の教会のように - 彼らはすべて落ち着いていました。

カトリックの教会 - すべてが落ち着き、ルター(Luther)が来ます。

宗教的な混乱がありました。

はい、そうです。

まあ、教会はツィングリ(Zwingli)と一緒に出て、ツィングリからは別の教会に、そしてカルヴィン(Calvin)に来ました。

そして、しばらくして、英国教会は落ち着きました。

そしてウェズリー(Wesley)が来ます。

宗教的な混乱がありました。

そのとおり、そうです。

それはいつも宗教的混乱を意味しています。

65 さて、その封印。今ちょっとだけ読んでみましょう。

私はこれを理解したいです。

私達は読むつもりです…私は話します。

小羊がその7つの封印の一つを解いた時、わたしが見ていると、[何が起こったのですか?], 四つの生き物の一つが雷のような声で…(ヨハネの黙示録6章1節-翻訳者-)

どうしてほんの数分で落ち着きたいのでしょうか! 私は今、これらのことをすべての人々に知っていただくように願い、主の慰めを待っているすべての人々が、本当の終わりを勉強し、テープでもこれを考えてくれることを願っています。

最初のことが起こった時、子羊が第一の封印を解いて雷鳴が轟きました。さて、印があります。意味を持っています。それは意味を持っています。それは意味です。意味なしには何も起こりません。その通り、雷、雷が鳴り響きました。私はその雷を不思議に思います。

66 ではもう少し読んでみましょう。

マタイによる福音書を開きましょう。…そうではなく、まずはヨハネによる福音書に行きましょう。

ヨハネによる福音書、12章、ちょっと数分それを保持してください。

ヨハネによる福音書、第12章、そしてヨハネによる福音書第23節から始めましょう。さてここでよく落ち着いて聞いてください。あなたはそれが何であるか不思議に思う必要はありません。」、

すると、

イエスは答えて言われた、「人の子が栄光を受ける時が来た」(口語訳-翻訳者-)と、あなたはそこにある時代の終わりにいます。

彼の使命は終わっていくのです。分かりますね「人の子が栄光を受けるべき時が来た。」

彼の花嫁を奪われなければならない時が来たのはどうですか? その時が来たらどうしたらいいのでしょうか? 御使いは地に足を踏み入れる準備が出来、もう一つは海、彼の上の虹の上を超えて言います。「時間がなくなりました。」それに加えて、彼は手を挙げて、これが起こったときにはもうその時はないと誓いました。なんて完璧なのでしょう - 教会への宣誓供述書! 「人の子が栄光を受ける時が来ました。」

よくよくあなたがたに言っておく。一粒の麦が地に落ちて死ななければ、それはただ一粒のままである。しかし、もし死んだなら、豊かに実を結ぶようになる。(ヨハネによる福音書12章24節-翻訳者-)

自分の命を愛する者はそれを失い、この世で自分の命を憎む者は、それを保って永遠の命に至るであろう。もし私に仕えようとする人があれば、その人は私に従って来るがよい。そうすれば、わたしのおる所に、わたしに仕える者もまた、おるであろう。もし私に仕えようとする人があれば、その人を御父は重んじて下さるであろう。(ヨハネによる福音書12章25、26節-翻訳者-)

今わたしは心が騒いでいる。(ヨハネによる福音書12章27節初めのみ-翻訳者-)

67 あなたは言います「まあ、彼は道の終わりに来て、心が騒いでいるの?」あなたが心騒がす何か大いなる霊的ことが起こったときに、あなたは何を考えさせるのですか? ああ何てこと。

今わたしは心が騒いでいる。わたしはなんと言おうか。父よ、この時からわたしをお救い下さい。しかし、わたしはこのために、この時に至ったのです。(ヨハネによる福音書12章27節-翻訳者-)

父よ、御名があがめられますように」。すると天から声があった、「わたしはすでに栄光をあらわした。そして、更にそれをあらわすであろう」。(ヨハネによる福音書12章28節-翻訳者-)

するとそこに立っていた群衆がこれを聞いて、「雷が鳴ったのだ」と言い、(ヨハネによる福音書12章29節途中まで-翻訳者-)

68 そして、小羊が書物を取ってその最初の封印を解いたとき、神は永遠の御座から、その封印が明らかにされるべきことを語りました。

しかし、それがヨハネの前に置かれたとき、それは象徴の中にありました。

ヨハネがそれを見たとき、それは奥義でした。なぜですか？それは当時明らかにされていませんでした。彼が最後に言ったことが明らかになるまで、それは明らかにできません。しかし、それは象徴に入っています。

雷鳴が鳴り響くとき、覚えておいてください、雷鳴の大音は神の声です。

それは聖書が言っていることです、雷の突然の大音を見てください！彼らはそれが雷鳴だと思いましたが、それは神でした。彼はそれを理解しました。

それは彼に明らかにされたからです。

それは雷でした。

そして、注意してください、最初の封印は開かれました。

第一の封印は、象徴の形で開かれたときに、嵐の様でした！それが現実の形でいつ開かれるのでしょうか？

69 それは、小羊が封印を打つとすぐに雷が鳴り響きます。

そして、それは何を明らかにしましたか？それ自身のすべてではありません。

まずそれは神と共にあり、次にそれは象徴の中にあり、次にそれが明らかになり、3つのことが見えます。そうです。

それは御座から出てきます。

まず、それは見られず、聞こえず、または何もありません。

それは封印されている。

小羊の血が対価を支払ったのです。

神がそれを語ったときに雷が起きます

。

そして、彼がしたとき、白い騎士が始まりました。

それはまだ象徴でした。

70 さて、集中してください。彼はそれが最後の日に知られると言いましたが、それは教会のシンボルの中に現れます。

あなたは理解していますか、教会の皆さん？[会衆は言う、「アーメン」-編集者]それは教会の象徴で出てくる…封印があることを知っているが、彼らは白い馬の騎士であるため、それはまだ何か分かっています。

そして、この実際の封印が解かれた終わりの日にしか明らかにされません。

誰に対して解かれましたか？キリストにではなく、教会の対してでした。

気が付いてください、さて…何てことそれは、私を震えさせるだけです。

私は教会が本当にそれを理解することを願っています。

私の行っている意味は、皆さん、私はあなた方を花嫁と呼ぶつもりです。

分かりますか？

71 その声は雷である。その声はどこから来たのですか？子羊が仲介者として離れた御座から。さて、彼はその立場と要求事項を得るためにここに立っています。

しかし、雷は御座の中から出てきました。

子羊はここに立っていました。

子羊が自分の御座を取りに行くために父の御座を去った雷鳴。

栄光。さて、それを見逃さないように、友よ。

私たちは皆、キリスト者として、神がダビデに誓って、御座に座し、ここに地上に永遠の王国を与えることを誓ったことを知っています。

彼はそれをおこないました。

イエスは言われました、「反キリストと世界のすべてのものを克服する者は、わたしが克服して、わたしと一緒に座り、私の父の御座に座す。」と

72 さて、いつか、父の御座から上がって自身の御座を取りに行きます。さて彼は彼の家来を呼び出しに行きます。どのように彼らを要求するのでしょうか？彼はすでに贖いの書を手に持っています。栄光！ああ、ある讃美歌を歌いたい気分です

彼の花嫁はいつも彼の側にいる

天の万軍が集まって(それを見るために)、

ああ、「輝きのある光景がありなさい」

純白のすべての聖人たち、

そしてイエスと一緒に永遠に祝福してあげよう。

(賛美歌歌詞-翻訳者-)

今天国の場所に座って、それは何でしょう、携挙が来る前にこのように感じる事ができれば、私たちは今この状態にあり、楽しむことができます。

私たちがそこに座っているのを見ると、どうなるのでしょうか？ああ、なんという、それは栄光の時となるでしょう。

73 彼は御父の御座を離れました。

御子が前に…彼こそがダビデの子です。

それはイスラエルが、彼がそれをやと思っていたものです。

シロベチカ人の女性が「ダビデの子」と言ったことを思い出してください。盲目のバルティマスが、「ダビデの子」といったのを思い出してください。そしてイエスは計画が何であるかを知っていましたが、彼らはそれを知らなかったのです。彼らは彼に、御座を取らせるように強制しようとしてしました。

そしてピラトも彼に尋ねました。しかし、彼は言いました、「私の王国がこの世のものだったら、私の家来たちは戦うでしょう。私の王国は天上なのです。」

しかし、彼は言いました、「あなたが祈って、祈って『あなたの御国が来ますようにと祈ってください、みこころにが天に行われるとおりに、地にも行われますように。』」アーメン。これはなんと偉大なものでしょう

74 彼は父の御座を離れて、自分の御座を取りました。

彼は今、彼の救いを主張するために執り成しの仕事から離れました。

それが、彼が御座から出て来たものです。それで獅子のような生き物がヨハネに言いました、「来たれ」
見て、あなたはそれを読んでいますか？

… 封印の一つ、そして私は

、雷のような声で…あなたは獣が何であったかを知っています。それらを確かめていくと4つの獣の一つは…

ご存知のように、獣とは。

ライオンのようなもの、子牛のようなもの、人のようなもの、ワシのようなもの。

さて、この最初の獣は言いました。

見て下さい、4頭の馬の騎士が通過するまで、毎回異なる獣がいます。4匹の獣がいて、4人の騎士がいることに注意してください。

注目してください、それぞれの獣はマタイ、マルコ、ルカ、ヨハネが行くと発表します。私たちは戻って、一つはマタイ、一つはマルコ、一つはヨハネそれぞれが行ったということを証明しようとしています。

75 さて、注意してください、獣のひとつが言いました、「きたれ」彼は雷鳴を聞き、獣の一つが言いました、「きたれ」言い換えれば、ここには子羊が立っており、ヨハネはその外に立ち出来事を見えています。

子羊は彼が全血の上に殺されたように、御座から上がってきます。

彼は価値があると分かった人であり、彼が上に達して書物を取ったとき、すべてが叫び始め、叫んで、続けている、そうです、

彼らは贖いが支払われたことを知っているからです。

76 さて、彼は自分自身を主張するようになりました。

だから彼は書物をとり、ヨハネの前に立っています。

そして彼はそれを引き戻し、封印を破り、封印を引っ張ります。

そして、彼が封印を引っ張ると、雷鳴がその場所を突き抜けました。

そして、雷が鳴ったとき、ヨハネが空中に飛び込んできたのは間違いありません。

そして、そのとき4つの獣のうちの1つが、「さあ、来て、それが何であるかを見て、ここで明らかになったものを見て下さい。[ああ、なんと]ヨハネ、あなたが見たことを書きなさい。」そしてヨハネが見に行き、起こったことを見ます。ヨハネが雷鳴のようなものが言ったことを見に行きます。

77 77しかし考えて下さい、さて、彼はこれを書いたと思います。

しかし、彼がその他の7つの雷鳴を書き始めたとき、彼は言いました、「それを書いてはいけない。彼は彼が見たすべてを書くように依頼されていました。

しかし、黙示録10章にあるこれらの7つの雷鳴が発したとき、彼は言いました、7つの雷の語ったことを封印せよ。それを書きとめるな。」

彼らは奥義です。

彼らはまだ何かを知りませんが、私の意見ではすぐに明らかになります。

そして、それらが起きたとき、その教会に対する携挙の恵みに信仰を与えるでしょう。私たちは、知っているすべてのことをただ進展させ続けています。

すべての世代を通して、すべてを見ました。神の奥義を見せられる。私たちは終わりの日に花嫁と共に

大集会が出現するのを見ました。

しかし、そこには自分自身を啓発することができない何かがあります。何か他のものがあります。

しかし、これらの奥義が現れ始めると想像しています。神は言いました、「さあそれを今戻してください。ちょっと待って。私はその日にそれを明らかにするでしょう。彼らはそれをずらすので、一切それを書いてはいけない、ヨハネよ。ただ行かせなさい。しかし、私はそれが必要な時にそれを明らかにするでしょう。」

彼らは何事にも発声しませんでした。覚えておいてください、小さなインク滴のように、すべてには目的であることを覚えておいてください。すべてが原因です。注意してください

78 しかし今、小羊は教会の象徴であるヨハネのように、教会が知っているように、何を書くべきかを示しています。彼はただ彼を見せただけだと言い、「今、これを教えてはいけない、それが何であるか、ヨハネよ。降りてはいけない、そして、言います「今、これはこれだけです。さて、この7つの封印の下にはあるのでしょうか…『降りるな、そしてそれを伝えなさい。(時代を通してすべての計画が破られるともしヨハネに伝えるのであれば)それは秘密です!」

彼はただ望んでいます...彼の来る...彼は言いました、「私が来るときは、だれも知ることはないでしょう。」それがすべてです。私の仕事のためにいつか知っているのではありません、私はもう準備が整っていますか、そうですか?

79 そして、彼は言いました…今、ヨハネは出発しました。彼は思いました、「わたしは今それを見に行きます。」

そして彼は何をしましたか?ヨハネが出かけたとき、彼は何をしなければなりませんか?今、彼は教会時代にこれを書かなければなりませんでした。

あなたが最初にこれらの7つの金色の燭台で見たことを書いてください。

この教会に書いて、彼らに教えてください。

80 80さあ、そして雷が鳴りました。ヨハネはそれが神の声であることを知っていました。そしてライオンのような生き物は、「それが何であるか見てください」と言いました。そして、ヨハネは今、彼が今見ていたことを彼のペンで書くために出て行きました。

さて、彼は起きていたことは、完全に一切見たことがありませんでした。彼はそれを理解しませんでした。

しかし、彼が見たのは、神が一度教会に送り込んでいたものでした。

さて、彼は持っています…彼はするでしょう、彼は、いつもそうします、彼はそれを明白にする時が来たら、それを明白にします。しかし、彼はそれを明白にしていなかった。どうしてでしょう?彼は終わりの時代までそれを秘密に保つつもりでした。そして、最後の天使のメッセージの響きは、これらの謎を集めることでした。そうです、それは明らかにします。

81 81しかし、ヨハネが見たのは、彼は正に白い馬が騎士と出かけて行くのを見ました。それは彼が書き留めたものです。それは彼が言ったことです。「見に来なさい。」そこでヨハネは教会に書くために見ることができるものを見に行きました。彼がしたとき、彼は白い馬を見て、その上に座っていた彼は弓を持ち、そして、彼は征服しに行き、征服しました。そして彼に王冠が与えられました。そして今、それはヨハネが見たすべてのものなので、彼はただそれを書きました。

さて見てください、それは象徴です。それが、教会がそれを受けた方法です。

終わりの日に彼がそれを明らかにして、それが何であることを示してくれると約束していました。神はわたしたちがそれを理解するのを助けます。

82 教会時代…、この最後の教会時代の第七メッセージまでは完全には知られていません。注意してください。あなたがもしそれに気づくならば、彼は他の人たちと同じように宗派を始めませんでした。覚えておいてください。彼は始めませんでした、いいえ、もし見つけられるなら、彼はそれに反対します。

エリヤはそれに反していたのですか？確かに彼はそうしました。

ヨハネはそれに反対しましたか(エリヤの霊と一緒に)？エリヤは彼にどのような霊を与えましたか？彼は…誰も彼についてあまり知りません。

彼は単なる人間でした。彼は預言者でした。彼は憎まれていました。

なんと！そして何時に彼は蘇ったのか？イスラエルの人気の時に、彼らはすべて世俗的になりました。そして彼はそこを出ました。そして、彼は女嫌いでした。彼は確かにそうでした。そして、彼は荒野を愛していました。それが彼の自然な性格なのです

83 それでそれらの人々は、その仲間が彼と同じ霊でそこに出てくるのを知っていたはずです。昨夜私が話したように、このヨハネが出てきて、セレブのような服を着いていたわけではありません。彼らは赤ん坊にキスし、結婚し、埋葬する、など。しかし、この男は荒野の人として出て来ました。

彼は何でしたか？彼は荒野を愛していました。

彼がやったもう一つのことは、宗派を憎んでいました。彼は言いました、「さて、あなたは言わないことだ。『私たちはこれに属しているとか、それに属していますと。神はこれらの石をアブラハムの子供たちに起こすことができる』とあなた』に伝える」。彼は妥協する交渉者ではありませんでした。言いました、「あなたは風に揺れる葦を見に行っただけですか？」違います、ヨハネ！違います！

84 彼は又何をしたのでしたか？エリヤがイゼベルに語ったように、彼はヘロデに言いました、彼はヘロデの顔にまっすぐ歩いて、「あなたが彼女に持っていることは正当ではない。」と言いました。彼女は彼の頭を切りました。彼女はエリヤを手に入れようとしてしました。イゼベルと同じ霊がその女にいました。今日もイゼベル教会に同じことがあります。同じことがあるのです。

今、気づきいてください。

何と素晴らしい教訓を私たちがここで見つけた事を。そして今、それらの人々が知っていたように見えます。ヨハネは回りの人々に叫び始めて、そしてそこに立ち、エリヤの霊であることを知っていたように見えます。彼らはそれが何かを理解すべきでありました。

85 さて、私たちは見つけました、教会時代を通してその聖句によると、終わりの時の直前にその霊の復帰が約束されていることがわかります。本当でしょうか？[会衆は言う、「アーメン」-編集者]さて、そして注意してください、あなたはその性質に気づくでしょう。さて、彼はルターとウェズリーのような他の全ての別の教会がしたような時代を開始しません、来るべき教会の時代がなくなるから、彼は別の教会を始めることはありません。それ以上はありません。それで、彼はそれに反対しなければなりません。なぜなら、彼の霊はまるで彼らが戻ってきたのとまったく同じだからです。同じ霊です。

私が昨晚言ったように、神はそれを3回別々に使うことを喜んでいました。それは神の数です。3で2ではありません。3。彼はすでに2度使っていますが、今度はもう一度使う予定です。彼はそう言いました。彼はそれを約束しました。

86 さて注意してください、彼は…、さて彼がした時です。ラオデキア教会時代が最後の時代なので、宗派を始めるつもりはありません。

第7の教会時代の第7の御使いである第7の使徒の御使いは、聖霊によって、このような奥義をすべて明らかにする人です。ここに昨夜何人くらいいましたか？

あなたの手を見てみましょう。私はそれ以上読む必要はないと思います。

あなたはそれがどこにあるのかを知っています - (ヨハネの黙示録-翻訳者-)第10章、そうです。その通りです。その通りです。

87 改革者たちは、終わりの墮落した教会時代を改革するようになりました。

その後、改革派が来て教会の時代を改革して世に戻った後、新しい教会時代が始まります。彼らはいつもそれを行いました。常に。さて、私たちはそれを経験しました。そうですね？

言い換えれば、ここではカトリック教会時代、ローマカトリック教会でした。

改革派のルターには、彼は改革者と呼ばれています。彼は何をしていますか？彼はそこをはじき飛ばすために出発し、彼がそうすると、彼は教会に抗議します。そして、あなたが知っている最初のこと、彼は何をしていますか？彼は分かれたの所と同じように別の教会を建てたのです。

そして彼らは別の教会時代を迎えます。

そして、あなたが知っている最初のこと、ここに来る…教会時代は、別の改革者であるジョン・ウェズリーも一緒に混乱させられています。他の教会時代の改革者でしたが、何意味するのか分かりますか？もう一つの教会時代が建てられました。彼らはすべて改革派です

88 注意してください。最後の教会時代のこの最後のメッセージは改革者ではなく、彼は預言者です。改革者ではない。ある預言者が教会時代を始めた場所を教えてください。彼は改革者ではない。彼は預言者です。他は改革者であったが預言者ではなかった。彼らがいたなら…主の御言葉が預言者に来ます。

それが理由で、父、子、聖霊での洗礼を続けたり、全て他のことをしたのは、改革者であり預言者ではなかったためです。

しかし、彼らは偉大な神の人であり、彼らが住んでいた時代の必要性を見ていました。神は彼らに油を注ぎ、そこに遣わしてその物を裂きました。

しかし、神の完全な御言葉は、預言者ではなかったもので、決して彼らに来ることはありません。彼らは改革者達でした。

89 89しかし最後の日には、預言者だけが奥義を知るため、神の奥義を取り上げるのは預言者でなければなりません。この人が来る必要があります。

今何を意味するのか見てみましょうか？それは改革者ではありえません。それは御言葉を捉える、賜物を持っている人でなければなりませんから預言者である必要がありました。

さて改革者たちは、何か間違っていることを知っていました。ルターは、パンはキリストの体ではないことを知っていたので、「義人は信仰によって生きる」と説きました、それは彼のメッセージでした。そして、ジョン・ウェズリーが来るとき、彼は浄めがあることを見たので、彼は浄めを説きました。それが彼のメッセージでした、そうです。ペンテコステ派たちは聖霊のメッセージなどをもたらしました。しかし終わりの日には、この終わりの時代に、御使いは改革を開始するのではなく、改革者が中断しすべての奥義を取り、それらを集めて解決し人々に与えるためです。

90 わたしにまたそれを読ませてください。私にはとても良い音に感じます。私はそれを読むのが好きです。

わたしは、もうひとりの強い御使が、雲に包まれて、天から降りてくるのを見た。その頭に、にじをいただき、その顔は太陽のようで、その足は火のはしらのようであった…(ヨハネの黙示録10章1節口語訳-翻訳者-)

さて私たちは同じものを見ました、それはキリストでした。

そして、私たちはキリストがいつも教会の御使いであることを知っています。その通り。彼は火の柱、聖約の天使などと呼ばれています。

そして、彼は、開かれた小さな巻物を手に持っていた。(ヨハネの黙示録10章2節途中口語訳-翻訳者-)

[今、封印はここで解かれました。私たちは今これを解いているが、これによってそのことは開かれている。]

—そして、右足を海の上に、左足を血の上に踏みおろして、ししがほえるように大声で叫んだ。彼が叫ぶと、七つの雷がおのおのその声を発した。(ヨハネの黙示録10章2節途中から3節口語訳-翻訳者-) [なんと、終わった。]

七つの雷が声を発した時、わたしはそれを書きとめようとした。すると、天から声があつて、「七つの雷の語ったことを封印せよ。それを書きとめるな」と言うのを聞いた。(ヨハネの黙示録10章4節口語訳-翻訳者-)

[書きとめるな、そうです]

それから、海と地の上に立っているのを私が見たあの御使は、天にむけて右手を上げ、天とそこにあるもの、地とそこにあるもの、海とそこにあるものを造り、世々限りなく生きておられるかたをさして誓った、「もう時がない。(ヨハネの黙示録10章5節、6節口語訳-翻訳者-)

91 [注意してください! 私たちが行くように今これを忘れないでください。]

しかし第七の御使が吹き鳴らすラツパの音がする時[日々]には、…

この最後の天使は地上に降りる天使です。この天使は天から降りてきます。

それは彼ではなかった。彼は天から来ます。しかし、彼はここで第七の天使の声を話しています。天使は御使いを意味します。誰もがそれを知っている。そして教会時代の御使い…

第七の御使が吹き鳴らすラツパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就される(ヨハネの黙示録10章8節口語訳-翻訳者-)[7つの封印、そのすべて、全ての奥義]

92 全ての奥義が解かれています。それがその御使いの御仕事なのです。そうです、

それで、単純な人たちがその上を降りるだけです。しかし、ここでは、どこでも完全に正当化されるでしょう。それは本当に完全に知られているでしょう。

それを見たいと思う人は誰でもそれを見ることができます。そうです。しかし、それらの…イエスは、彼が来た時に言ったように、「あなたは目があっても、見えません。、イザヤは言いました、あなたは耳があっても、聞こえない。」

だから私たちは調べる…それは私を恐れさせます。私は振り返ってその時計を見て、10時だと思いました。しかし私は…まだ9時にもなっていませんでした。そのとおり。ああ、なんということ!それを今、理解してしまいましょう!

93 93注意してください(これ私好きです)。他の人達は改革者でしたが、偉大な神の人であることによって、その時代の必要性を見て、改革をもたらしました。しかし、ヨハネの黙示録10章は、彼のメッセージは、(改革ではなく)明らかにされること、秘密を明らかにすることです。秘密を明らかにすることでした。ヘブル書4章によると、「神の言は生きていて、力があり、もろ刃のつるぎよりも鋭くて、精神と靈魂と(ヘブル書4章12節口語訳途中まで-翻訳者-)、そして、心の秘密の表明するものである、」そうです、この人は改革者ではありません。神の奥義の表明するもの。何を表明するものですか?

神の奥義です。教会は、それが全て結ばれて、すべて彼は神の御言葉を持って来て、そのことを明らかにします。彼は子供たちの信仰を父親に戻すことです。元の聖書への信仰は、第7の天使によって修復されます。

さて、ああ、どうして、このことが大好きです。

改革派が完全に理解できなかった封印のすべての奥義、そうです。

94 さて、マラキ書4章を見てください。ちょっと待ってください。ただそれに印をつけてください。彼は預言者であり、父のの信仰に回復させます。さて、私たちはその人物が現れるのを探しています。彼は非常に謙虚で、10百万×10百万、何百万の人々が…ああ、それを理解する少数のグループがあるでしょう。

別の日に、ヨハネが来るはずだったことを思い出して下さい、キリストが来る前に御使いを預言しました。荒野で叫ぶ声の人?マラキは彼を見ました。

マラキ書の3章を見てください。エリヤがキリストの到来を前に到来する事に関してです。あなたは言います、「ああ、いや、いいえ、ブランナム兄弟。

それは4章です。」すみませんもう一度お願いします。イエス様はそれは3章であると言われました。

95 さあ、マタイによる福音書、11章の6節を取り上げます。

彼はこれを言うでしょう。(11章、私はそれが6節だと、4節、5節、6節の流れだと信じています)。彼は

言いました、「あなたがそれを受け取ることができれば、[彼はヨハネについて話していた]、これは『私の顔の前に私の御使いを送るだろう』と話されている彼です」。マラキ書3章を読んでください。

マラキ書4章にそれを適用しようとしている人もいます。そうではないです。それではないのです。注意してください、マラキ書4章は、その御使いが出て行くとすぐに、世界は完全に燃え上がり、義人は千年のうちに彼らの灰の上を歩いていきます。だから、もしあなたがそこに彼が戻ってきたのを見たならば、聖書がそうではないことを伝えます。私たちは2千年の歳月を持ち、世界はまだ燃えておらず、その中に住んでいる義人たちなのです。だから将来的になるはずです。

ああ、なんという。黙示録を理解したとして、この時代の終わりにその御使いが何をすべきかを見れば、あなたはそれが何であるかが分かります。彼は預言者でなければなりません。彼はこれらの改革者が見えなかったもの、この終わりを捉えてそこに置かなければなりません。だからそれは未来になくてもなりません。

96 マタイによる福音書28章19節は使徒行伝2章38節と比べて、神の霊的な啓示なしにどのように比較することができますか？これらの人々は、神の啓示なしに、奇跡の時代はそれを過ぎていると言いますが、それが正しいか間違っているかを知る唯一の方法です。わかりますか？しかし、彼らは神学校を行ってきました。

私たちはそれに入る時間があることを願っています。私は急ぎたい、なぜなら、これらの封印を開封に関して1週間以上(皆さんは私が意味することを知っています)もあなたをここにとどめたくないからです。私は一日を取って、もし可能であるならば、私はその日に病気の人達のための祈りをしたいと思います。

97 さて、マラキ書4章を見ましょう、彼は預言者であり、父たちの元の信仰を回復させます。終わりの時、大艱難が来るとき(今ここではちょっと逆戻りします)、3年半、またはダニエルの70週間、ダニエルの70週の後半、3年半の年…さて、私たちは…教会の時代から何人が覚えていますか？決められた70週間がありました。それがどんなに完璧だったか見てください。言いました、「救い主が来て、彼はその週に犠牲が終わり、義務は終わるだろう。」

98 そして、まだ3年半がユダヤ人への救い主を待つという教義があります。神はユダヤ人と異邦人を同時に扱いません。彼は国家としてのイスラエルを扱い、個人としての異邦人として扱います。彼は彼の花嫁として異邦人を取っておらず、彼は異邦人から人々を選んで取っているのです、分かりますね。さて、彼はイスラエルを国家として扱います。今では、そこは彼女が国家としてそこに正しく座っています。

私はポールから手紙をいただきました、ポール・ボイドです私に話し、言いました「ブラムハム兄弟、なんという真実でしょうか。これらのユダヤ人は、何が起こったとしても、異邦人に向かっておかしい気持ちを持っています。」もちろんそうでしょう。彼らはそうであるべきです、

99 さて、マルチン・ルターがすべてのユダヤ人を逃げさせなければならないと宣言したとき、彼らの建物は燃やされてしまうはずでした。なぜなら彼らは反キリストだからです。わかりますか？マルティン・ルターはその声明を彼の著述の中で、自分自身で作りました。

さてヒトラーは、マルティン・ルターがいったことを成就しました。何故マルティン・ルターがそのように言ったのでしょうか？彼は改革者であり、預言者ではなかったからです。神はその預言者に対処し、イスラエルを祝福しました。彼は言いました、「祝福される者は誰でも祝福され、あなたを呪う者は呪われます。」どの様に1人の預言者が、他の預言者が言ったことを否定して立つことができますか？彼はそれをする事はできません。それは調和していなければなりません。

100 それが彼らの種類である理由です…そうです、ドイツはキリスト教国家であると考えられています。そして彼らはまだイスラエルと関係をもっているが、彼らはまだ彼らの肩にかついでいます。貴方は非難出来ません。しかし本当に忘れないで下さい。もしここにだれかユダヤ人が座っていても、心配しないで下さい。その日が来ています！神は決して彼らを忘れることはできません。彼らは私たちのために盲目でした。

私たちのために慈悲深く預言者に言われたことをあなたは知っています…預言者は叫んで言いました、「あなたはイスラエルを忘れますか？」

彼は言いました、「その測定する棒を取ると、空がどれだけ高いのですか？海はどれくらい深いのですか？」

彼は言いました、「私はそれを測れません。

彼は言いました「決してイスラエルを忘れることは出来ません。」彼らこそが彼の民、彼の僕です。そして、異邦人は、彼の花嫁のためにそこから取り出された少数なのです。その通りです!それが花嫁です。

101 さて、70週間が完全に決定され、ダニエルは救世主が来て、その週の間で断ち切られると言いました。イエスは3年半を預言しました。さて、この3年半のダニエルの途中で、途中で断ち切られました。そして今最後の部分は、異邦人の教会がある大患難期の事です...ああ、これは素晴らしいことです!さてそれを逃してはいけません。花嫁は新郎と一緒に入り、千年後に邪悪な人の灰の上を歩きます。

102 ここで皆さんに見せたいのです。私たちはそれを念頭に置いている間、聖書が語っていることをあなたに示しましょう。これが神の御言葉であることを否定することはできません。もしそうすれば、私たちは未信者になります。そうです、私たちはそれを信じなければならないのです。あなたはいいです、「わかりません。」私もそうです、私はそれを明らかにするために彼を探しています。

万軍の主は言われる、見よ、炉のように燃える日が来る。その時すべて高ぶる者と、悪を行う者とは、わらのようになる。

[アメリカ人など]、ええ、邪悪な者たちはすっかり枯れてしまうでしょう。

[それは燃え尽きるでしょう。]

その来る日は、彼らを焼き尽くして、根も枝も残さない。(マラキ書4章1節口語訳-翻訳者-)

103 そこに永遠の地獄はどうでしたか?そうです、これらのことが明らかになるのは終わりの日です。地獄には地獄が永遠であると言う場所は聖書にはありません。永遠の地獄であるためには...、あなたはそこにとどまるために永遠の命を持たなければならないでしょう。永遠の生命の唯一の形があり、それが、私たちが苦勞しているものです。すべてのものには終わりがあります。

地獄は悪魔とその墮天使のために創られ、消費され、捨てられるであろう。

そのとおり。おわかりですか?しかし、これが起きると、それは根も枝も伸ばすことはありません。

しかしわが名を恐れるあなたがたには、義の太陽がのぼり、その翼には、いやす力を備えている。あなたがたは牛舎から出る子牛のように外に出て、飛びはねる。また、あなたがたは悪人を踏みつけ、わたしが事を行う日に、彼らはあなたがたの足の裏の下にあって、灰のようになると、万軍の主は言われる。(マラキ書4章2-3節口語訳-翻訳者-)

邪悪な人は、その試練の後にどうなりますか?灰!

あなたがたは、わがしもべモーセの律法、すなわちわたしがホレブで、イスラエル全体のために、彼に命じた定めとおきてとを覚えよ。見よ、主の大いなる恐るべき日が来る前に、わたしは預言者エリヤをあなたがたにつかわす。(マラキ書4章4-5節口語訳-翻訳者-)

104 アーメン!それは旧約聖書がそのように終わっているところであり、ここでは新約聖書がまったく同じように終わります。どうやってそれを守るつもりですか?できません。見てください、

主の大いなる恐るべき日が来る前に、わたしは預言者エリヤをあなたがたにつかわす。彼は父の心をその子供たちに向けさせ、子供たちの心をその父に向けさせる。これはわたしが来て、のろいをもってこの国を撃つことのないようにするためである。(マラキ書4章6節口語訳-翻訳者-)

105 そして今、あなたはそういうことが起こっているのに気づくと...、神様はそれを美しく見せてくれます。花嫁は新郎と一緒に出てきて、その後は、邪悪な者は消えない火で燃え尽きます。そして、世界が浄化された後、それ自身を再現します。

すべてがそれをしなければなりません。浄化の状態を経なければなりません。

偉大なる終わりの時に火山が噴火するでしょう。そして、世界は爆発し、つぶれて出ていきます。これらのすべての罪の恵みと、地上にあるすべてのものは、何も造られません。このような灼熱で燃え尽きるでしょう...。

その漂白のようにインクの色を元の創造物に戻します。神からの火は非常に熱くなり、サタンとすべての罪が焼かれたとき、そしてすべての汚れたものを再びその状態に戻すでしょう。それから彼女はエデンの庭のように美しく出てくるでしょう。そのとおり。ああ、そのすばらしい時が私たちの前に横たわっています！

106 この大患難期の間、(ここであなたが気づいて欲しいのは、ここではちょっと落としていきます)この大患難期間中に花嫁が召集され、教会は大患難期を通り、ヨハネの黙示録11章の2人の証人によって14万4000人が呼び出されています。

さて見てください、彼らは荒布なので服を着て1260日を予言します。

107 さて、このローマのカレンダーは…われわれは時々28日あり、30日、31日あったりします、実際カレンダーはこれを読んでいます。どの月も30日です。そうです。そして、1000、230日を取り、それに60日とそれに30日を入れ、あなたが得たものを見ます。正確に3年半の年月を記録しています。それは時間です。

それは、そこに戻ったように、救世主のメッセージがイスラエルに説教されるために割り当てられた時間です。彼が帰ってきたとき彼自身を象徴とする、それは彼が来るときのことです…

108 ヨセフが国に連れ去られ、霊的な人であったために彼の兄弟によって拒絶されたとき…彼は状況を見て、夢を解釈することができました。そして彼がしたとき、彼は国に降りられ、約30片の銀のために売られました。

彼にはイエス・キリストの霊があったので、正確にキリストを描いていました。何が起こったのかを気付いてください。そして、彼がこれに気が付いたとき、彼が刑務所に入れられました。そして、ある人は救われ、もうひとりは十字架で獄中にいたときにイエス様を失いました。1人の泥棒が救われ、もう1人は失われました。その通り。墓に投げ込まれ、死んでいると思われて、ファラオの右手になったので、ヨセフを最初に会うことなく、誰もファラオに会うことはできませんでした。イエスは神の右に座り、彼を通らずに父に来ることはできません。そのとおりです。

109 そして注意してください、ヨセフが去ったとき…、ヨセフはその王座の右手から立ち上がった…見て！栄光！ヨセフはファラオの右手に座っていました。

そして、ヨセフがその王座を去るために育ったとき、ラツパが鳴りました。

「皆さん膝まづいてください、ヨセフが来ます！」

その小羊が託宣の日にみ座を去ると、そこに王座を残してその贖いの書を取り歩いていくと、すべての膝がひざまずき、すべての舌が告白します！

彼はそこにいるのです！

110 注意してください、その時、ヨセフは兄弟たちによって拒否されたとき、異邦人の妻を授けられました。

ポティファールは彼に贈りました…

あるいは、ファラオは彼に異邦人の妻を与えました。そして、彼は異邦人とユダヤ人の半分の異邦人の子供たちをうんざりさせました。

ユダヤ人たちは、ヤコブが彼らを祝福していたときに、エフライムと他のマナセを手渡し小さな子供に祝福を与えるという大きな象徴を与えています。そのとき2人の子供たちは12の部族に加えられました。

彼はヤコブ自身の中で彼らを祝福しました。そしてヨセフ、彼の預言者の息子、はそこに立って言いました、「父よ、あなたは間違ってしまった」と言いました、「あなたは右手を幼い子供に祝福します。それはもっと古いものになっていたはずです。」

彼は言いました、「私は手が交差しているのを知っていますが、神は彼らを横切っています。」どうしてでしょう？イスラエルは、花嫁になる権利を拒否し、彼女の誕生日を売り渡し、息子のイスラエルから新しいイスラエルに、異教徒に行きました。そこから祝福が十字架を通して若者に向かいました

111 しかし注意してください。その後、そうです、それを経て…、全て経たし時…、彼は花嫁を取りました。しかし、彼らの少年たちは食べ物を買いに降りてきました…ああ、それはなんと美しい画でしょう。私は封印を外

しています、しかし私はそれを言わなくてはなりません、そうです、あなた方はもっと良い画を手に入れるでしょう、私は信じています。

しかし注意してください。その後、見て、彼らが食べ物を買いに降りて来たとき、ご存じのようにヨセフはすぐに彼らを認識しました。そして、ヨセフは繁栄の息子でした。彼がどこに行っても、彼はいつも繁栄しました。あなたは再び地球に来るまで待ちます。私たちのヨセフが来るまで待って下さい。「砂漠はバラのように咲き、義の太陽は翼の癒しとともに蘇るでしょう。」ああ、なんということ！アリゾナ周辺のサボテンはすべて美しい木々に広がります。それは美しくなる事でしょう。

112 注意してください、ここに彼が来て、彼は少し彼らにトリックをします。そして、彼は送り、彼は言います、「私の父はまだ生きていますか？」わかりますか？彼はその少年の父親が生きているかどうかを知りたがっていました。

彼は言いました、「はい。」

彼は彼の兄弟であることを知っていました。しかし、あなたは気づきましたか？彼は自分の兄弟たちに自分自身を明らかにする準備ができたとき、彼がいなくなってから生まれていた小さなベニヤミンを見つけました…そして、それは彼がいなくなっている以来、今そこに集まっている14万4千人のユダヤ人を表します。そして彼が帰ったとき、彼は言いました…彼はベニヤミンを見ました。彼の心は壊れそうでした。そして、覚えておいてください、彼らはヘブライ語を話すことができる事を彼らは知りませんでした。彼は通訳者を使っていました。彼はエジプト人のように演技していました、分かりますね。

113 そしてそれが知らされた時…、彼は自分自身で知らせたいと思っていました。

彼はずっと小さなベニヤミンを見ていました。そして、彼は妻に席を外させたことを覚えていますね。彼女は兄弟たちに彼自身のことを知らせた時宮殿にいました。そして、異邦人の花嫁、妻…イエスは自分の民によって拒絶された後、異邦人の花嫁を迎え入れ、ここから宮殿へ、婚礼晩餐会の栄光の中で御父の家に連れて行き、彼の兄弟である百人に知られるように。そこに彼は立つのです！そして、忘れないで下さい、象徴を見てください。完璧です。

114 そして、彼はこれがどこにあったのかを見て、彼らを見下ろして言いました…見始めて、彼らは話し始めます。彼らは言いました、「さて、ルーベン、お分かりのように私たちは今それを受け入れていることを知っています、そうですね？なぜなら、私たちは何をしたのか知っていますね？、定められていることからこの男の子を手に入れました。さて、わたしたちは、わたしたちの兄弟を売ってはいけません。」それはそこに立っている偉大な王子である兄弟で、そして彼らはそれを知りませんでした。

イスラエルが今日彼(イエス-翻訳者-)を理解できない理由です。まだそれを知る時ではありません。そして、彼は…ヘブライ語を理解できないと思っていたが、彼は彼らのことを聞いていました。彼らは言いました、「今我々はそのためにいます。」

115 そしてヨセフ、彼らを見たとき、もはや我慢できませんでした。さて、覚えておいてください、彼の妻と子供はその時そこにいて、聖人が出かけ、臨在から離れて、そして彼は言いました、「私はヨセフ、あなたの兄弟です。」そして彼は走り抜けて、小さなベニヤミンに飛びつき、首を抱いて、泣き出しました。そして彼は彼自身を知させることになりました。

そして彼らは言いました、「さあ、我々は彼を売り渡したことを知っているはずですよ。我々は彼を殺そうとした者でだから。今、我々は彼が私達を殺そうとしていると分かる。」

彼は言いました、「ダメだ、自分自身で怒るのではない。あなたは人生を守るためにそれをしてだけです。それは神が私をここに使い降ろした理由です。」そして彼が彼自身を知られるとき、聖書は言います、私たちがしれに来たとき、彼が彼自身その14万4千人を知られる、その日そこにいる少数のベニヤミン、そして残りのユダヤ人がさり、彼が彼自身を知らされたとき、彼は言うでしょう、「あなたはどこで祖にお傷を負ったのですか？彼らはあなたの手で何をしたのですか？」

彼は言うでしょう、「ああ、私の友の家でそれらを手に入れた。」

116 ああ、それから彼らが救い主を殺したことに気付くでしょう。しかし、彼はなんというのでしょうか？ヨセフがしたのと同じです。「あなたは、命を差し出すためにそれをしました。そんなことはしないで…命を守りなさい。自分自身に怒ってはいけません。」なぜなら異邦人は送り込まれなかったでしょう、もし、ユダヤ人が目隠しを

していなかったならば。だから、彼は彼らがしたことにおいて教会の活動を守りました。だからあなたはそこにいます。それが今日彼らがこれを理解できない理由です。それは時間ではありません。

理解するために、その時が来るまでこれ以上私たちはそれらのことを理解してられません。ああ、なんということ。

117 啓示の7つの雷、彼は偉大な翻訳の信仰のために準備する方法を花嫁に示すかもしれません。さて、(急ぎましょう、私たちは、あと15分か20分くらいしかないからです。)

さて、これ「白い馬」は何を意味しましたか？これを読ませてください。私は遠く離れていました。すみません、私の項目を取り下げさせてください、しかし私はまた再び章を読みます、2つの章です。

小羊がそにお七つの封印の一つを解いた時、私が見ていると、四つの生き物の一つが、雷のような声で「きたれ」と呼ぶのを聞いた。(ヨハネの黙示録6章1節口語訳・翻訳者-)

[さあ、私たちは2章に行きます]

そして見ていると、見よ、白い馬が出てきた。そして、それに乗っている者は、弓を手に持っており、また冠を与えられて、勝利の上にもなお勝利を得ようとして出かけた。(ヨハネの黙示録6章2節口語訳・翻訳者-)

[それが全てです。それは封印です。]

118 さあ、象徴を見つけましょう。私たちは雷が意味することを見つけました。これは完璧に、私たちはあれを知ります。封印が解かれたときの雷は神の声でした。

さて、白い馬の意味することはなんでしょうか？さて、ここは啓示が来るところです。私はこの御言葉を知り、ここに立っていることに、正に前向きです。

私はそれについて聖書のあらゆる部分を読んで見つけられました。そして、それで…その最後の時私は…それを通過しようとして、ただそれを教えていました、およそ30年まえに、私は本を取りました…誰かが私に、再臨派は、彼らが知っている人よりもキリストの再臨についてより多くの光を持っていたと言いました、だから私は多くの彼らの本を読むために見つけました。私は[ダニエルの啓示]にあるスミス氏の本を手に入れました。彼はいいました、この白い馬は帰ってきたときは白で、そして勝利者の象徴として、そしてこの勝利…

あなたがた多くの再臨派の兄弟はその本を知っていて、あなた方の多くや、それ以外の方も読まれています。そして、その他、私は2つか3つ読みます。私は読みます…私は呼べません…さらに2つの本を私は読み、そしてどちらの人もそれらが正しいことに同意します。彼らの素晴らしい先生は、最高の光で、最高のものになるはずでした。だから私は思いました、「ああ、もし私が知らなければ、私は彼らが言ったことを、正に言ったかみれず、あのようなみちに教えようとしていたかもしれません。」彼らはそれについてとても素晴らしい本当に意味のあることの説明を与えていました。

119 そして彼は言いました、「今ここに白い馬があり、白い馬は力 - 突撃者です。」そして言いました、「それに座っていた人は…白い馬は、初期の時代に出て神の王国の時代に勝利した聖霊でした。彼は彼の手に弓を持っていて、クピド[ローマ神話の恋の神]のような意味です。彼は愛の矢を人々の心に、神の愛を、そして彼は勝利しました。

さて、それはとても良く聞こえますが、それは真実ではありません。

いいえ、そうではありません。白は正義を意味します。私たちはそれを認識します。白の意味は正義です。教師たちは、初代の時に聖霊が勝利されたと教えてくれました。しかし、聖霊による私の啓示はそうではありません。

聖霊による私の啓示は、キリストと聖霊は異なる形でありながら同じ存在なのです。

ですから、ここには小羊キリストが立っています。私たちは彼が小羊であることを知っています。彼はこの書物を手にしてここに立っており、白い騎士がいます、そうです。だから、それは聖霊ではありませんでした。

120 さて、それは終わりの日の奥義の一つで、それはキリストが1人でどのように3人になることができるか

です。それは3つの異なるものではありません。父、息子、聖霊の3つの神、三位一体信奉者の方たちが私たちにそれを教えようとしているようではないのです。それは同じ人物の3つの現れです。あるいは、それを3つのオフィスと呼ぶかもしれません。あなたが牧師たちと話しているなら、あなたは事務所を利用しないでしょう…なぜなら…(私は私がテープに録っていると思ってしまったので、私はあなたに言います…)もちろん、キリストは言えませんでした、「私は私のオフィスに祈るでしょう、そして彼はあなたに別のオフィスを送るでしょう。」私達はそのことを知っています。しかし、あなたがそれを作りたいなら…それは同じ神の3つの属性です。三つの神ではない。同じ神の3つの属性です、そうです。それで、キリストがその外で、白い馬が勝利し、ここに彼の手に書物を持って立つことがどうやってできるのでしょうか？そうではない。だからそれはキリストではありません。

121 注目してください。さて、聖霊は、啓示の中で…そして、キリストは…聖霊は別の形のキリストです。その通り。気が付いて下さい、書物を開いたのは小羊であり、小羊はキリストです。それからキリストはそれ以上見られません。

しかし、彼はヨハネの黙示録の書の中で見られます、第19章で白い馬に乗ってきます。それを読んでみたいと思ったら、ヨハネの黙示録19章11節-16節を読みましょう。私たちがいる間に、すぐにそれを読んでみましょう…私たちは十分な時間があれば、私たちが少しだけ良くなるようにします。(19:11)第11節から始まり、第16節を読んでください。

またわたしが見ていると、天が開かれ、見よ、そこに白い馬がいた。[地上ではなく、天において、そうです]それに乗っているかたは、「忠実で真実な者」と呼ばれ、義によってさばき、また、戦うかたである。その眼は燃える炎であり、その頭には多くの冠があった。[王冠を見て下さい]また、彼以外にはだれも知らない名が、その身にしるされていた。(ヨハネの黙示録19章11節-12節口語訳-翻訳者-)

122 私はそれを数分で止めることができたらいと思います。ああ、なんということ。私は良い考えを持っていますが、おそらく[不明な言葉]です。誰もそれを知りません。エホバの名前が正しくないことをあなたは知っていましたか？誰かご存知ですか。ヴァイル博士、貴方はそれが本当であることはご存じです。翻訳者はそれを決して翻訳することはできませんでした。それは綴られたJ-U-H-Vです。

J-V-H-Uという意味です。それはエホバではありません。彼らはそれに触れることができませんでした。彼らはそれが何であるかを知りません。彼らはちょうどそれをエホバと呼んでいましたが、彼の名前ではありませんでした。

見てください。毎回勝利を得るか、何かが起こるたびに、その名前は変えられました。

123 アブラハムの時を見てください。彼は最初のアブラムであり、その名前がアブラハムに変わるまで、その赤ちゃんを授かることはできませんでした。

そして、サラ(Sarra)、S-a-r-r-aは、名前がS-a-r-a-hに変更されるまで、死んだ子宮以外は持つことはできませんでした。

ヤコブ(Jacob)は、彼がしたことである詐欺師を意味します。彼は羊の皮をひそかに置いて、彼の預言者である父親を欺いて長子の権を取りました。彼はポプラの棒を水に入れ、斑点を付け、幼い頃に妊娠したときに牛を怖がって、牛と羊を斑立たせました。詐欺師以外の何者でもありません。しかし、ある夜、彼は本当のものを掴んで、それが本当であることを知りました。そして彼はそれにとどまって、彼が克服するまで続けました。

そして彼の名前は変えられ、イスラエルと呼ばれ、神の前に力のある王子を意味しました。その通りですよね？すべての勝利者…

シモンは漁師でした。しかし、彼の信仰が捕えられて、それがイエスであることを知ったとき、彼は救世主であり、彼の名前がなんであるかを、そして彼の父の名前が何であるかを彼に告げました。彼は克服してシモンからペテロに変わりました。

サウル、良い名前です。サウルはイスラエルである時、王でしたが、サウルは使徒にふさわしくありませんでした。王にとっては大丈夫かもしれないが、使徒ではふさわしくありません。そこでイエスはその名を改めました。何からでしょうか？サウルからパウロに。雷の子を見て、おろしたのです。

124 そしてイエス、地上の彼の名は救い主イエスでした。彼が地上にいたとき、彼は救い主でした、それは

本当です。しかし、彼は死と地獄に勝利し、それらを克服し、高く上がったとき、彼は新しい名前を受けました。それが彼らのやり方を威嚇し、何も得られない理由です。それは雷によって明らかにされるでしょう。

125 その奥義を注目してください。彼は来るのです、馬に乗って。この教会を変えるものがなければならない、あなたはそれを知っています。何かがあるはずですよ！注意してください。人は知りませんでしたし、彼自身も知りませんでした。さて、注意してください、誰も知らなかったし、彼自身も知りませんでした。

彼は血染めの衣をまとい、その名は「神の言」と呼ばれた。[ああ、なんと注意してください。]そして、天の軍勢が、純白で汚れのない麻布の衣を着て、白い馬に乗り、彼に従った。その口からは、諸国民を打つために、鋭いつるぎが出ていた。彼は、鉄のつえをもって諸国民を治め、また、全能者なる神の激しい怒りの酒ぶねを踏む。その着物にも、そのももにも、「王の王、主の主」という名が記されていた。(ヨハネの黙示録19章13節-16節口語訳・翻訳者-)

126 そこには救い主が来ます！そこにはこの馬のこの人はいません。違いを見て下さい。ここでは彼はその手にその書を持って立っています！贖いの働きはただ…彼がまだ自分の場所を取ってないのです。

だから、それはキリストではなく聖霊です。彼らのような偉大な人間は否定しません。いいえ。わたしはそういうことをしません。私はそれをしたくないですが、これは私の啓示です。そうです。もしあなたが何か違いを得られたなら、大丈夫です、それでよいです。しかし、それは私にとって大丈夫ではないのです、そうです。私はこのように信じています。

127 注意してください。キリストはもはや見られません、そうです、その時代以降はです。しかし、彼は白い馬に乗っています。だからこの男が白馬に乗っているのなら、彼はキリストの偽者に過ぎません。そうです。それが分かりましたか？注意してください、白い馬の騎士は名前がありません。彼は2つまたは3つの肩書を使用するかもしれませんが、名前はありません。しかし、キリストには御名があります！それは何ですか？神の御言葉！「初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。(ヨハネによる福音書1章1節-2節口語訳・翻訳者-)…そして、御言葉は肉をお創りになりました、そうですね？

128 騎士には名前はありませんが、キリストは「神の御言葉」と呼ばれています。

それが彼のものです。彼はそのように呼ばれました。さて、彼は誰も知らない名前がありますが、彼は「神の御言葉」と呼ばれています。この男は何とも呼ばれていません、そうです、しかし彼は白い馬に乗っています。

騎士には彼の弓のための矢がありません。だから彼は盗人に違いありません。その通りです。たぶん彼は雷をもっていますが雷光は持っていません。しかし、あなたはキリストが雷と雷光の両方を持っていたことを知っています。彼の口から鋭い両刃の剣が出て、国を撃ち殺すためです。そして、この男は何も打つことはできません、そうです、しかし、彼は偽善者の一部を演じています。彼は白い馬に乗って出かけ、獲得するために出ていきます。

129 キリストは鋭い剣を持っています、そして注意してください。それは彼の口から来ます。生きる神の言葉。それは神の僕に明らかにされた神の御言葉です。彼はモーセにこう言ったように、「そこに立って、その杖を抱きしめて、ハエを呼んでください」と言って、ハエがはいりました。当然です。彼が何を言っても、彼はそれをし、彼の生きる御言葉を渡します。神とその御言葉は、同一の人物なのです。神は御言葉です。

初代教会時代のこの神秘的な騎士は誰でしょうか？彼は誰でしょうか？それを考えてみましょう。初代教会時代に始まり、永遠に乗りこみ、終わりに行くこの不思議な騎士は誰なのでしょう？

130 第2の封印が出てきて、最後に出てきます。第3の封印が出てきて、最後まで出て行きます。第4、第5、第6、第7 - 彼らの一人一人がここで終わりに上がっています。

そして、最後に、これらの書物が巻かれています。それから、それが何であるかを見るために、謎が来ます。しかし実際には、初代教会時代には、このように初代教会時代からメッセージが送られてきました。

白い馬の騎士が出てきて、わかりますか？彼は誰ですか？彼は彼の勝利力で偉大な仲間です。彼はあなたが誰であるかを教えてもらいたいのですか？彼は反キリストです。それはまさに彼のものです。さて、なぜなら、あなたは見ます、もし反キリストなら…イエスはそうのように言いました、「それは可能ならば非常に選出された(花嫁)を欺くだろう」反キリスト、それは反キリストの霊であります。

131 教会時代を覚えておいてください、初代教会時代を開いたとき、そこに戻って、聖霊は確実に始まる教会時代に反対しました。それは「ニコライ宗」と呼ばれていました。それを覚えていますか?「ニコ(Nico)」とは、勝利することを意味します。「ライティ(Laity)」の意味は教会で、その教会です。ニコライ宗-教会の勝利。聖霊を教会から連れ出して、それを一人の聖なる人に与えなさい。彼はそのすべてのボスになることができます。あなたはそれを通りました-ニコライ宗。

注意してください、ニコライ宗の人々(Nicolaitia)は、一つの教会において言われていて、次の教会時代の教義になるということでした。第三の教会時代には、それは強制であり、彼らにはニカイア協議会[Nicaea Council-翻訳者-]がありました。教会の教義となりました。

132 最初に何が起こったのですか?そこからの組織。さて、それは正しいのですか?最初に組織された教会がどこから来たのか教えてください。ローマカトリック教会。黙示録が記していないか教えてください、ヨハネの黙示録、17章「彼女は大淫婦で、彼女の娘は娼婦です。」「憎むべきことを取る、教義のための彼らの陰謀の汚れ、教義を教えるための人の戒め。」

133 注意してください、見て下さい、彼は克服し始めます。注意してください、彼には冠がありません。(白い馬の騎士には、私がここを話しているのは、見て下さい。)その後で弓と王冠が与えられました、そうです。彼は始めから王冠がありませんでしたが、王冠が与えられました。注意してください、後に、彼は冠を与えられます。ああそうです、そのうちの3つ-3つのうちの一つ。そのうち三つは三つに分かれていたが、それは300年後にニカイア協議会でニカイアの霊を持ち始め、人々の間に組織を形成しました。そしてそれからそれは続いて、そして言われるようになりました。そしてそれが教義になったのです。

134 あなたが教会に戻ってきたキリストが語られたことを覚えておいてください。

「あなたはニコライ宗の人々のわざを憎んでおり、わたしもそれを憎んでいる。

」聖書を取って勝利しようとする…ただ唯一の神聖な人が、すべての罪とすべての事を許すことができます。

そして、私たちはパウロがそれを語ったところを読みました。「終わりの日には、彼は最後の日まで明らかにすることができませんでした。そして、阻止している者は、そこから神の霊を取り、その後彼は御自身を明らかにするでしょう。」

今日、彼は白い馬の偽装を受けています。

数分で彼がどのように白い馬から変化するか見て下さい。彼は白い馬になるだけでなく、頭と角がたくさんある獣になる。わかりますか?白い馬 - 彼は偽物ですがさて、それが人々が今迄ずっとそれを知らなかった理由です。彼らはそれを考えましたが、さあ今ここにあります。それは聖句によって明らかにされるでしょう。

135 注意してください、ニコライ宗のとき、分かりますね…反キリストがついに…彼は人として肉体を持っています。それから彼は戴冠しました。彼が教会でニコライ宗の霊です。彼は霊です。霊に冠をかぶせる事は出来ません。しかし、300年後、彼はローマ教皇になります。それから彼らは彼に戴冠した!彼は始める時には王冠を持っていませんでしたが、後で王冠を得ました。そうです、その霊が肉体になります、そうです。彼は人になります。ニコライ宗の教義は人になり、彼らは彼に冠することができました。それは単なる教義だったので、彼らはそれをするできませんでした。栄光!

気が付いてください、この聖霊が私たちの体になったとき、私たちのうちに聖霊の形で現われ、イエス・キリストの人として私たちの体になったとき、私たちは王の王、主の主に冠するでしょう。アーメン。その通り、そうです。

136 さて、覚えておいてください、キリストが王座に来る頃、反キリストは王座に来ました-ユダ。キリストが地上を離れる時、ユダは地面から降りました。正に聖霊が帰ってくる頃、反キリストが戻ってきました。

あなたはヨハネがここで言ったことを知っています。「小さな子供たち、あなた方に無知であってほしくない。[お分かりのように、反キリストについてです。]、彼はすでに来て、不従順な子どもたちの中で働いています。」そこに反キリストがいました。そこに組織を作るためにニコライ宗の霊を形作り始めました。

私がそのことを嫌っても不思議ではありません。そこに貴方はいる。それは私ではありませんでし

た。ここに何かがありました。その物事があります。それは出ていきます。それが分かりますか？私はその周りにいました。私は今までそれが分かりませんでした。私は今それを知っています。そこには、神が憎んだニコライ宗の霊があります。そして今、その霊は肉体化され、彼らはそれを戴冠しました。ここでちょうど、聖書が言っているように、彼らがそうすることで完璧です。ああ、なんということ。

137 化身、彼は人となりそして彼らは彼に冠を授けました。読んでください、注意してください…またはむしろ読んでください。ダニエルが言ったように「彼が教会の王国を引き継ぐ。」それを読んでみませんか？私たちはその為の時間がありますよね？いいでしょう！ちょっとだけダニエル書に戻ってみましょう。ダニエル書に戻って私たちはちょっとだけ読みましょう。そして、私たちは、おそらく別の15または20分、または30分、またはそれ以上になることはありません。良いですね。ダニエル書の11章に行ってください。21節を見てみましょう。ここにダニエルがいます。ダニエルは今、この人がどのように引き継ぐのか話しています。

彼に代わって起こる者は[ローマの話]、卑しむべき者であって、彼には、王の尊厳が与えられず[今、見て下さい]、彼は不意にきて、巧言をもって国を獲るでしょう。(ダニエル書11章21節口語訳-翻訳者-)

138 ダニエルはこの反キリストがすると言ったことはまさにそれが行ったことです。彼は人々の場所に合うでしょう。今日の教会のメニューに合っています。

この教会時代のために、彼らは御言葉を、キリストを望みません。しかし彼らは教会を求めます。まず初めに…あなたがキリスト教徒であるかどうか尋ねません。「あなたはどの教会に属していますか？」「どの教会？」彼らはキリスト、御言葉を望みません。あなたは彼らに御言葉を、まっすぐにする方法を教えます、彼らはそれを望んでいません。

彼らは何かが欲しいのです…ただ彼らがしたいように生きて、そしてまだ教会に属し、彼らの証を保持しています、そうです。それで、彼はメニューを正確に表示します。そして覚えておいてください、彼は聖書の中で最終的に「彼女」と呼ばれました。彼女は大淫婦で娘がいました。人々が望むような、今日の演目に適合します。そこにはそれがあるのです。

139 神はそれを約束しました。御言葉が拒否されると、彼らは欲望に変わります。

テサロニケ人への手紙をもう一度読ませてください。私はここであなたをほんの1分見て欲しいです。私たちはそれをしばらく前に読んでいます、テサロニケ人への第2の手紙2章9節-11節。それは彼らがするだろうと言いました…真実を拒絶し、彼らは嫌がらせの心に渡され、嘘を信じ、それによって罪を犯すでしょう！それは聖霊が言ったことです。

さて、今日の教会の欲望ではありませんか？あなたは、人々があれこれを行う必要があることを伝えようとし、彼らはあなたが早急にメソジスト派、長老派、またその他、あなたのボートに漕ぐ必要がないことをあなたに知らせます。わかりますか？確かに！彼らはそれを望んでいます。そして、神は言いました、「もし彼らがそれを望むなら、私は彼らにそれを持たせるだけです。」

そして、実際には真実であると信じさせます。なぜなら、私は彼らに真実についての嫌悪感を与えるから。

140 聖書の御言葉をここでも見て下さい「ジャネス(Jannes)とジャンブレ(Jambres)がモーセに辛抱したように…、終わりの日にはこれらの人たちも真実について嫌悪感を持ちます。主なる神を否定して、私たちの神の恵みを淫行に変るでしょう。」今、どこにいるのがわかります！今カトリックだけではなく、プロテスタントなどのすべて。組織された世界のすべてです。それは白い馬騎士です。白の道の下に正義の教会、そうです、しかし反キリストです。それは…、馬の上でさえ、キリストが馬に乗って来るように見えるはずで、すべて反キリストです。だから近くには、非常に選出された人をだますでしょう…。

ここに彼はいます。彼は反キリストです。彼は初代教会時代に乗り始めました。今、彼はあらゆる時代を下に乗って過ぎています。さあ、彼を見ましょう。

141 あなたは言います、「使徒の時代にさえ戻っていますか？」彼はそこでニコラティアと呼ばれていました。その後、次の教会時代には、教会の教義となりました。最初は、彼はただ言った言葉でした、そして彼は教義になりました。

増大する、有名人、美しい服を着た、高度に教育された、洗練された、教会で行われているすべてを望んでいません。いいえ、彼らはすべて聖霊のものを望んでいませんでした。教会でなければならない…そし

て、私たち全員…ローマでニカイア協議会などを通過します。。そこに来ると、教会に行き、異教徒(ローマとカトリック、または異教)、異教のローマと迷信はほとんどありません。天の女王アスタロスをとり、天の女神、それを母親マリアに変えました。死者の中から仲裁者を作るなど。その丸みを帯びたコーシャの聖餅をとりました。それはまだそこに置かれていて、天国の母親を表すのでキリストの体と呼ばれています。そしてカトリック教徒はそれを通り抜け、その中で燃えているその光ゆえに、コーシャであることになって、聖職者の力によって神に向かう、正義の平和主義者であると考えられているからです。そのとおり。

142 私はただそれを理解していません。さて、そうです。私は神の恵みによって理解します。さて、気が付いてください。ああ、なんということ、彼らがそれをどうやってできるのか。そして、彼らは彼らの欲望を与えられています。いいえ、それは本当です。あなたはそれをする必要はありません。

いいえ。あなたがそれをしたくなければ、あなたは強制される事はないのです。あなたが神の生き方と物事と礼拝のやり方を進めたくない場合、あなたはそれをする必要はありません。神は誰にもそれをさせません。しかし、何かを教えてあげましょう。あなたの名前が世の創設前にその小羊のいのちの書に書かれていたなら、あなたはそれをする事はとてもうれしいことになるでしょう。あなたはそれをするのを待つことはできません。

ここを見て下さい。あなたはいいいます、「宗教的なことを理解するように与える事にしよう…」そうです、そうかもしれません。司祭が主イエスの時代に宗教的ではないと誰が言えるのでしょうか？誰がイスラエルが荒野で宗教では無かったと言うことができるのでしょうか。

143 彼らが食べていた時…「神が私に何度も恵みを与えられた…」

そうです、彼らもまたそれらをしました。彼らは生活のために働く必要さえなかったのです。彼は天から彼らを養いました。そしてイエスは言われた、「彼らは皆失われ、行ってしまい滅ぼされた。」「私たちの父祖たちは、」と彼らは言いました「40年にわたって荒野で過ごし、マナを食べました。

イエスは言いました、「そして彼らはみな死んだ」ー永遠の別れです。分かりますね。彼は言いました、「しかし、私は天から来た命のパンです。

人がこのパンを食べれば、決して死なないでしょう。」そうです、彼は生命の木なのです。

144 ただいま気が付いてください..どの様にしたか…そして、イエスが来るとき、それらの司祭は、彼らは非常に宗教的にそこに上がりました。何て、だれも彼らが悪い奴だと言う事が出来る人はいませんでした。なんと、彼らはその律法の流れを歩いていました。その教会が言ったことをすべて、彼らはそれを行いました。彼らがしなければ、彼らは石打ちされました。そして、彼らが歩いて出て行ったとき、イエスが彼らをどの様に呼ばれたかをあなたは知っていますか？ヨハネは彼らを呼びました。「あなたは草の中のヘビの集まりです。組織に属しているとかからと言って何も神に関係していると思っはいいないでしょうね」

そしてイエスは言いました、「お前はその父親である悪魔の者である。」彼は言いました、「神が預言者を送るたびに、何が起こった？お前は彼を石打ちし、彼を墓に投げ込んだ。そして、お前はそこに出て、彼の墓を磨いている。」

145 カトリック教会がしていること同じことではありませんか？とセント・パトリックそして残りのすべてを見てください。彼らはそれらを置くものです。そして、ジョン・オブ・アークの身体を掘って、数百年後に川に投げ込んでしまいました。そして、彼女を魔女のために燃やしました。「お前はあなたの父親、悪魔、の者であり又、彼の仕事をお前がする。」その通りです。それは全世界に行くことでしょう。そうです。。

それはイエスが語られた言葉です。そしてあなたはその通りだと考えています。それはかなり良く見え、その白い馬に見えます、があなたが持っているものを見てください。それはまさにそれに乗っていることです。

146 さて、しかし彼は言いました、「彼らはそれを望んでいたのも、彼らは彼らに強い妄想を与えるでしょう。」覚えておいてください、黙示録17章のこの大淫婦は、娼婦の母親である大いなるバビロンです。そしてヨハネは彼女を賞賛しました、この男が書いたように…私たちがここに着き、この馬を見えています。

そうです、しかし、あなたは気づきました、彼女は…これで何が起こったのか、これは、彼女が大きな賞賛を得て彼女を賞賛したのですが、不思議なことはキリストの殉教者の血を飲んだことでした。美しい教会が紫と金で飾られていて、彼女は彼女の姦淫の汚れの手の中に杯を持っていました。

147 姦淫とは何ですか？それは不義な生活です。彼女が神の御言葉を取り去って、「万歳、メリー」、そしてこの他の種類のものすべてを効果のないものをそれを与えるという彼女の教義です。そして、地球の王たちは、彼女と姦淫をしました。

「ああ、」あなたは言います、「それはカトリック教会です。」しかし、彼女は大淫婦の母親だったのですが、彼女と同じことでした。お前はそこにいます。何が起こったのですか？改革者が死に彼のメッセージが消えて、お前が組織し、そこにリッキーズの集まりを入れて、お前が望んでいた方法で生きていくために、すぐに始めたのです。お前はその御言葉に留まることを望んでいなかった。御言葉で正しく行動するのではなく、彼らはそこにとどまっていました：「これだったのです」あなたはそれをしません。それは彼がそこにいるということです。

148 気が付いてください。(それは一つのことです。閉める前にあと二つほどの箇所を読んでいきたいです。)それはダニエルの人々を破壊する王子でした。あなたはそれを信じていますか？(今、私はこれを作るつもりです…もしあなたがちょっと手伝って私に寛大であれば、できるだけ早くそれを作ります、しかし、私はそれを肯定的にしたいのです、大丈夫、聖霊が私にここに立っているのと同じように、私にこれを与えてくれるからです、そうです。)

149 さて、見てみましょうさあ取り上げます…ダニエル書にもう一度もどります。ちょっと待って。私は何かを読みたいです。もちろん、あなたが戻らなければ、それは大丈夫です。私はダニエル書9章を読みたいです。

ダニエル書9章、ダニエル書9章の第26節と第27節を読みたいです。

彼がダニエルの民を滅ぼす人ではなく、彼が何をするのかを見てください。

その六十二週の後にメシアは断たれるでしょう…[それは3週間と2週間ですが、彼は70週間のうちに断ち切られます。]ただし自分のためにではありません。またきたるべき君の民は、町と聖所とを滅ぼすでしょう。そのお終わりは洪水のように臨むでしょう。そしてその終わりまで戦争が続き、荒廃は定められています。(ダニエル書9章26節口語訳-翻訳者-)

150 皆さんに質問をしたいです。3年半の間、キリストが地上から切り離され、何が寺院を破壊したのでしょうか？誰がそれを破壊した？ローマ。

確かに。コンスタンティヌス、又、許してください、ローマ帝国のテトス。彼は君主を破壊した。さて、気を付けてください。この人が右下に来るのを見てください。彼をしっかり見てください。

151 イエスが生まれたとき、天にいた赤い龍は、生まれてすぐに彼女の子供を奪うために女性の場所に立っていました。そうでしたか？子供が生まれたときにそれを誰が奪おうとしたのですか？[会衆は言う、「ローマ」-編集者。]赤い龍がいました。ここにあなたの王子がいます。ここにあなたの獣がいます。そこには、彼らのすべてが、まったく同じように、子供を奪います。神はそれを天につかんで、彼の王座に座りました。それは今、キリストが任命されるまでのところですが、そうです。さあ、彼が何をやろうとしているか見て下さい。

152 私は誰かと話していたと思います。それは今日のロバーソン(Roberson)兄弟だったかもしれない、あるいは私がこれについて話していた誰かです、(これはここではないということですが…、同じような物)。私はここでこれについて長い間説得していたと思います、このアメリカの経済状況で何が起ころうでしょうね。さて、私たちは現在、今日から40年間支払われる税金で負債を払っています。それは私たちがどれほど遠くにあるのか。

その「カイル(KAIR)」や「ライフライン」(Lifeline)をオンにして、ワシントンからそれを聞いたことはありますか？なぜ、私たちは完全に逮捕されたのですか？それで全部です。どうしたのでしょうか？金はすべて収容され、ユダヤ人は債券を保持します。ローマになる予定です。

さて、よく見てください。大きな百貨店を誰が所有しているかはわかっていますが、ローマが世界の富の最大の部分を占有しているのです。残りの部分はユダヤ人が持っています。さて、これに注意して下さい。今、聖霊がこれをどのように私のために出したのか聞いてください。

153 彼は一週間の間多くの者と、[さあ、見て下さい]堅く契約を結ぶでしょう。そして彼はその週の半ばに、犠牲と供え物とを廃するでしょう。また荒らす者が憎むべき者の翼に乗ってくるでしょう。こうしてついにその定まった終わりが、荒らす者の上に注がれるのです。(ダニエル書9章27節口語訳-翻訳者-)

見て下さい。ああ、彼はどんな勇敢なものか！彼はここにいます。今私達は私達の画を得て、彼がローマであることを知っています。彼は白い馬の騎士だとわかっています。彼は教義として出発したことを知っています。そして、異教のローマは何でしたか？ローマ法王宮殿に改宗し、戴冠しました。

154 さて、注意して下さい。終わりの時に - キリストが説教していた初期の時ではなく、終わりの日の最後の週で、私たちはダニエルの70週間をただ見ました…そしてキリストが3年半の間と預言し、すでに時期が決定しています。そうですね？その時、この王子はダニエルの民、つまりユダヤ人との契約を結ぶことです。そその時花嫁は取り去られている時です。彼女はそれを見ないでしょう。

155 気が付いていますね。ダニエルの週の最後の半分で、その人々は契約を結びます。

この王子はローマとの富と疑いの余地がない契約を結びます。カトリック教徒とユダヤ人が世界の豊かさを保有しています。

私はバチカンにいました。私は三重の王冠を見ました。私は教皇とのインタビューを受けることになっていました。ベイロン・ヴォン・ブランバーグ氏(Baron Von Blumberg)が水曜日の午後3時に私のためにその調整をしてくれました。

彼らは私を王に連れて行って、ズボンから袖口を取り出しました。それは大丈夫です。彼らは私に背を向けたり、彼から離れ足りないようにと言いました。それは大丈夫でした。しかし、私は言いました、「この男の前で何をしないではいけないのですか？」

彼らは言いました、「ただひざまずいて、片膝でひざまずいて、彼の指にキスしてください。」私は言いました、「それはダメだ。」そうです、いいえ、私は言いました、「兄弟になりたいならだれでも兄弟と呼びます。もし彼がその肩書を持ちたいと思っていれば、私は彼を牧師と呼びます。しかし、人が礼拝するたのは、ただすべてがイエス・キリストに属しているのです。」いいえ、私は誰の人の手にもキスしません。」はい、絶対に。

156 それで、私はそれをしませんでした、バチカンを通り抜けていかなければなりませんでした。なぜ、あなたは1000億ドルでそれを買うことができなかったのですか？なぜ、あなたは…そしてただ考えていてください「世界の富」、「彼女の中に見つかった。」と聖書は言っています。ああ、ただ権勢のある場所です、1000億倍…。

なぜロシアで共産主義がここまで築かれたのでしょうか？それは、多くの説教者が共産主義に敬意を表していることを聞くだけで、私の腸が煮えくり返ります、彼らが何を混乱させているのかさえわかりません。その通りです。共産主義何もないものではないのです。聖徒の血のために地上に復讐をもたらす、神の手にある道具なのです。そのとおり。

157 そして、教会が取り去られた後、ローマとユダヤ人はお互いに契約をします。聖書は告げています、彼らが聖なる民と契約するであろうと。そして、さて注意してください。彼らはそれを実行するでしょう、何故ですか？なぜなら、この国家は破壊され、世界の残りの部分では金本位制が破壊されます。あなたはそれを知っています。私たちが税金、延滞税で生きているとしたら、今後40年間、我々はどこに居るのでしょうか？起こりうることは1つだけです。それは通貨を呼び出して債券を返済することです我々にはできません。ウォール街がそれらを所有しており、ウォール街はユダヤ人によって管理されています。残りはバチカンが所有しています。そして、ユダヤ人は、)世界の商取引でウォール街以外のものを持っているのです。

158 私たちはそれを呼び起こすことは出来ません。もし彼らがそれを行うことができれば、これらのウィスキーの人たち、そしてこれらすべてのタバコを吸う人々は、年間数十億ドル…？そして、そのような卑劣な写真やそのようなものについて、彼らの所得税をすべて払いましょうか？そこにアリゾナで出かけ、数百万エーカーの土地、または何千もの土地を購入し、5万ドルで大きな井戸を掘り起こし、所得税で償却しますか？

あなたがあなたのお金を払わなければ、彼らはあなたを刑務所に入れます。

しかし、彼らはそれを書いて、井戸を投げ、ブルドーザーを送っています。

そして、彼らは何をしていますか？彼らはそこに住宅プロジェクトを置きました。そして、彼らのお金で次の回りに彼らは作りました(彼らは投資をしなければなりません。)、そこに住宅やプロジェクトを入れて、何百万ドルも売りました。あなたは彼らが通貨を変えるために譲歩するつもりだと思いますか？

159 ここのこの人のように…(彼の名前は?)カストロはやりました。

彼はそれまでに賢いことをやっただけで、債券を破壊して払ってしまいました。気が付いてください、しかし私たちはそれを行うことができません。

これらの人たちは私たちにそれをさせてくれません。

地上の豊かな商人達がそれを保持し、そしてそこに、ただ一つのことがあります。カトリック教会はそれを支払うことができるということです。彼女はそれらのお金を持つ唯一の物です。彼女はそれを行うことができます、そして彼女は行います。

そして、これを行うには、それを得るために彼女はユダヤ人と譲歩し、契約を結ぶでしょう。彼女がユダヤ人とこの契約を結んだとき…さあ、覚えておいてください、私はこれを聖句から取っています。そしてさあ、彼女がこれをして、ユダヤ人とこの契約を結ぶと、私たちは気付きます、ダニエル書8章23節と25節で、「悪知恵が繁栄させる」と悪知恵を手に行っています。

160 そして彼はユダヤ人とのこの契約を締結します。そしてこの3年半の支配において、彼がものを手に入れて全て包囲しユダヤ人とタイアップしてお金を得てすぐに契約を破ります。そして彼がそうすると…ああ、なんと、ああ、なんということでしょう。彼は最後の教会時代の間反キリストと呼ばれ、彼の故に…、彼と彼の子どもたちはキリストと御言葉に敵対します。この反キリストと呼ばれる男。さあ、彼はお金を手にします。そしてそれは入ってくるだろうと思います。(ちょっとだけ。私はこれを言うでしょう、それから私はそれに数分戻っていきたいです。)彼は反キリストと呼ばれ、そして終わりの時代の間神の御前に反キリストと呼ばれます。さて、しかしそれから彼は別の名前と呼ばれます。

161 さて、彼が全ての支配下でお金を得るとき、「その後彼がこの契約をユダヤ人との計画を破る。」ダニエルがここで言ったように、彼はそれをするでしょう、「ダニエルの70週間の最後の半分の真っ只中で。」それから、兄弟、彼は何をするのでしょうか？彼はすべての国の取引、通商、世界との協定、を手に入れます、彼は世界の富を完全に掌握するからです！

そしてその時、2人の預言者がその場で起ります、14万4千人が呼ばれるでしょう。それから、何が起きるでしょうか？黙示録13章の獣の印は、彼が商業、貿易、世界のすべてを保持しているからです。そして、それから何が起るでしょうか？獣の刻印が入ってくると、獣の刻印のある人以外は誰も売買をすることができなくなります。神様に感謝します。教会は栄光の中で3年半を楽しんでいます。私たちはその苦勞を味わう必要はないのです。

162 さあ、集中してください、終わりの時に、教会の時代の終わりには、彼は呼ばれています…彼と彼の子どもたちは反キリストと呼ばれています。

キリストに反するものは何でも反キリストです。そして、御言葉に反するものはキリストに反するものです。なぜなら、キリストは御言葉なのですから。今、彼は反キリストです。それから、黙示録12章7節-9節で、「地に投げ落とされ、その使たちも、もろともに投げ落とされた。…」(あなたはそれを置くことができます。私はあなたにそれを読んでもらうことができます。私たちは20、15しかし、ヨハネの黙示録12:7,9では、「サタン、その霊、悪魔は今ここにおり、私たちの兄弟たちを告発しています…(分かりますね?)教会は取り上げられ、サタンは追放されます。教会が上がると、サタンが下がり、サタンは反キリストに変身し、獣と呼ばれます。」7

163 そして、ヨハネの黙示録13章では、彼は印を下ろします。そうです。「彼が阻止しているとき」今だけ…キリスト教は純粹に地上に残されているのです阻止している彼により…。第2テサロニケの人への手紙のここに戻ります、忘れないで下さい、「自ら神の宮に座して、自分は神だと宣言する。」地上で罪を赦すことは？そして、それは続くでしょう、そして、不義は増し加えられるでしょう。「なぜなら、彼が明らかにされるべき時が呼ばれるまで、彼はまだ知られていないからです。」

そして、教会は連れ去られるでしょう。それが連れ去られたら、彼は今、反キリストから自分自身を変えるのです、ああ、なんということ！教会、偉大な教会、そして…さあ、彼は獣になります！うーん …うー …私は人々にそれが分かる様にすることを切望しています。

164 さて、覚えておいてください、反キリストとその獣は同じ霊なのです。三位一体があります。そうです。それは同じ悪魔の力の3つの舞台なのです。ニコライ宗を覚えておいてください、そうです。それはそれが戴冠出来る前に、化身しなければなりませんでしたそうですね、さて、これを見て下さい。3つの舞台です。第1の舞台では彼は反キリストとよばれ、第2の舞台では、彼は偽預言者と呼ばれ、第3の舞台では、彼は獣と呼ばれます。

165 ニコライ宗に気が付いてください、反キリストの教えは、パウロの時代から神の御言葉に反して始まりました。それから、彼は再び偽預言者と呼ばれ、人になって教えるときに、彼はカトリック教会の階層を教える預言者でした。教皇は偽りの言葉の預言者であり、それにより彼は偽の預言者となりました。

第3の舞台では獣でしたが、終わりの日にローマの異教徒が持つすべての力で戴冠した男、7つの頭の獣と龍は天から投げ出されて、偽預言者の中で肉体になります。そこには7つの冠があり、彼は追い出されて地と海に投げ込まれました。そうです。私たちはなんと言っていますか？この騎士は誰、この馬の騎士は？あなたはそれが何か知っていますか？それはサタンのスーパーマンです。

166 私は、今この教会に座っている2人の兄弟と一緒に、私は別の夜を過ごしました(ノーマン兄弟、そこに戻って、フレッド兄弟だと思えます)。

私たちは、反キリストを教える人としてよく知られている人で、アッセンブリーオブゴッドにいる最高の人の内の一人の話の聞き手でした。彼の反キリストに対する解釈は、ある人から何らかの種類のビタミンを取り出し、この命を人として都市のブロックを踏みしめる素晴らしいイメージに変えようとしていることでした。そして、それは…反キリストが誰であるかを言う聖書がここにあるとき、あなたはそのような妄想の下で(あるいは主張されている)、聖霊で満たされた人のことを想像できますか？それは…ちがいます、それは人です！

167 気が付いてください、この騎士は、サタンのスーパーマン、悪魔の化身に過ぎません。彼は教育を受けた天才です。さて、あなたの耳が開かれていることを願っています。彼らはテレビのキャストで、それほど前ではない時に彼の子供の一人を、次の大統領になる男よりも賢くないかどうかを試していました。しかしながら、彼は多くの知恵を得ています。サタンもそうです。彼はそれを売ろうとします。彼はそれをエバに売り、それを私たちに売りました。そうですね。我々はスーパーマンを欲しがっていました。我々にはあります。全世界がスーパーマンを求めています。彼らはそれを手に入れようとしています。教会が携挙し、サタンが追い出されるまで待ってください。彼は変身するでしょう。そのとおりです。彼らは本当に仕事できる人を欲しがっています。彼はそれをやるでしょう。

168 教育を受けた人です。これはサタンのスーパーマンであり、彼自身の言葉による教会の神学と知恵を持ち、自分の作ったものを持っており、彼は白い宗教的な馬に乗って人々を欺きます。そして、彼らはすべて、教会の連合と世界の連合に入るので、世界のすべての宗教に勝利するでしょう。そして、彼らはすでに建物を建て、すべてがをの列に並んでいました。一つも残っていません。

すべての宗派は、それに密着しています。教会連合です。裏づける者は何でしょうか？ローマです。そして、教皇は今、叫んでいます。「私たちは皆一つです。一緒になって共に歩こう」と。

169 そして、これらの人々は、純福音の人々のうちの何人かでさえも、そのような措置を取るあなたの伝道的教えを否定しなければなりません。あなたは何をしましたか？その宗派的なことに目が見えないので、あなたは真理を拒否しました。真理は彼らの前に置かれ、彼らはそこから離れてそこを去りました。「そして今、彼らは嘘を信じてそれに腹を立てる強い妄想にさらされました。」それはまさにそれです。そして、反キリストがそれをすべて取ります。そして、聖書は言いました、「彼らは、地球の顔に二重にすべてを欺いて、世の初めからの封印の下に名前は書かれていませんでした！」さて、聖書が言いました、彼がそうした、彼がそうした。

彼らは言いました。「まあ、私は属している…」あなたはそこにいるのです。それがそのものなのです。それは同じ売春宿です。初めから始まったのと同じ体制、いたるところで反キリストなのです。私はそれを聞くことになりましたが、それは…それが真理です。私はそれを期待しているのです。

170 さて、注意して下さい。彼がまだ反キリストである間、彼が獣になる前に彼の握手に勝利して克服しそうですね。あなたは残酷な刑罰について話します。あなたはただ待つだけです。地球上に残っているものを見守ってください。泣いて泣き叫び、歯ぎしりをするでしょう。龍のために、ローマは、花嫁が選ばれて携挙された後、地球に残された女性の種の残りと戦うために、口から水を噴出させました。そして龍は種の残りと戦いました。それは来たいとは思っていませんでしたが、狩りをしました。

そして本当の教会はそれが可能ならばそれを通ります。しかし、お分かりのとおり、彼らはこの血のもとでキリストの恵みによって行われており、それは不可能です。彼らには大患難期間がありません。教会のための次のものは、携挙です！アーメン！アーメン！

171 ああ、私はこれをすごく大好きです！言っておきますが。私たちは彼がどんな勝利をしているのか、彼は本当に勝利しようとしています。彼はすでにそれをやっています。それはすでに縫い付けられているだけで

す!彼らはお金で汚い利益のために縫い上げるでしょう。その通りです。まさに彼らは神よりもお金を愛しています。彼らが今考えていることは、どれくらいのお金を持っているのか?ということです。それは何ですか?あなたはそれが何度も言われていることを知っています:「教会にお金を贈りなさい。彼女は世界に革命を起こすでしょう。教会にお金を与え、彼女は世界中に伝道者を送るでしょう。」そして彼女は何をしますか?「彼女はキリストのために世界を征服するだろう。」

あなたに話したい、私の貧しい盲目の友人達に教えさせてください。世界はお金ではなくイエス・キリストの血によって勝利します。神の人に栄誉を与え、御言葉によってそこに立つでしょう、生きようが死のうが。それは勝利するでしょう。勝利できるというたった一つのことがあります。:世界の基盤から生まれた小羊のいのちの書に名前が書かれているものが勝利出来る唯一のもの達なのです。お金はそれ自体で何も出来ないでしょう。宗派の伝統の為に送る以外。

172 はい、教育的な天才が共にいれば、彼は賢くなるでしょう。あらまあ、彼の周りの彼の子どもたちは皆、賢くなるでしょう。Ph.D.、LL.D、Q.S.D、A.B.C.D.E.F、Zまで降下します。彼らはそれらすべてを習得します。賢い。なぜ?それがサタンの指示だからです。私の、私の、私、そしてすべては、賢い博士です。なぜなら、それはサタンの指示の後である。聖書に対する狡猾な狡猾さはサタンのものです。それはまさに彼がエバを取ったものと同じなのです。エバは「ああ、書かれている。神は私たちのためにそれをしてはいけないと言いました。」と言いました。彼は言いました、「しかし、待ってください。確かに神はそれをしないでしょう、しかし私はあなたの目を開いて、あなたにいくつかの知恵を与えます。」彼女はそれを手に入れました。私たちはそれを欲しがっており、私たちもそれを得ました、この国。

173 注意して下さい、彼は宗教的世界全体を征服するでしょう。彼はダニエルの民との契約を征服するのです。彼は勝利するでしょう…ダニエルの人々と契約を締結するでしょう。ここでは、これは異邦人とダニエルの人々、ユダヤ人を最後の週を通してです。そして私たちはここにいます。ボード上にもそれを描きさえし、それがどこにあるのかは完全に分かります。神に感謝します。彼はここに居られます。悪魔の者であるその組織システムです。そしてそれはパンチされたり引っ張られていません。

それこそまさに悪魔の根源です。さて、人々ではなく、その人々でもなく。彼らは神の民であり、その多くは神の民です。しかし、ご存知ですね?私たちがここに乘って…、私たちはこれらのラッパが鳴り響くようにします。そして覚えておいてください、最後の御使い、第3の御使いたちが来て「彼女から出てきなさい私の民よ!」その御使いが飛ぶと同時に、最後のラッパのためにここにメッセージが降ります(最後の御使いのメッセージ)、最後の封印が開きます。

すべてが同時に発生します。はいその通りです。すべてが封印され、永遠に入っていくのです。

174 さて、この男が征服しているのを見て(それから私は終わります)、神様も何かをやろうとしています。さあここでサタンにすべての信用は与えません、そうです。彼については、全く話すのはやめましょう、そうです。この偉大なことがそこに出てきている間に、これらの団体のなかでこれらの組織に巻き込まれているこの素晴らしいシステムは、共にプールし、共産主義に立ち向かうことができ…ます…そして、神が彼らを征服するために共産主義を立てたことを知りません。確かに。何がロシアで共産主義を生み出したのか?ローマ教会の不純物と残りの部分のために。彼らはロシアにあるすべてのお金を奪い、人々を餓死させ、彼らに何も与えず、世界の他の国と同じように暮らします。

175 私は前にメキシコにいて、貧しい幼い子供たちを見ました。どのカトリックの国も自立していません。一つもありません!彼らがどこにいるのか教えてください。カトリックが支配している国でも、自分自身を支えることさえできません。フランス、イタリア、そしてそれらのすべて、メキシコ、どこに行っても、彼らは自立していません。どうして?教会は彼らが持っているすべてを取り去ったからです。それが、ロシアが蹴っ飛ばした理由です。

176 何が起きているかに注意して下さい。私はこれが分かっています。私はそこに立っていて、ゴールデンヨベルが鐘が鳴っているのを聞いていると思うでしょう。ここでは、貧しい小さな女性が通りを歩いてきています、足を引っ張って、赤ちゃんを抱えている父親と、二人か三人が泣いていました。彼女はその上の死んだ女性に償いをしていました。彼女は…彼女が天国に行くことができると思っていました。ああ、なんと哀れなものなのでしょう。

そして、私はそこに立っているのを見ました…ここに来る…彼らの経済は、あまりバランスがとれていません。教会は彼らが持っているすべてを取ります。

ここでは小さなパンチョ(Pancho)、多分パンチョフランク(Pancho Frank)、彼は降りてきます、彼はレンガ造りの石工です。そして彼は週に20ペソの収入がありますが、1組の靴を購入するのにその20ペソ全部がかかるのです。それが彼らの経済です。

しかし今ここでは、それでは、もし彼が石工と煉瓦造りで一週間に20ペソを作ったら…ただ言ってみましたが、彼が何を造るかわかりませんが、そのような種類の経済の事、それがバランスを取る方法なのです。

177 気が付いてください。彼が週に20ペソ稼ぐと、チコが来ます(「小さなもの」を意味します)、そして、彼は週に約5ペソのためにそこで働きます。そして、彼は10人の子供をやしなう必要があるのです。が、そのペソから約5ペソをドアにきた誰かに渡すのです、彼の罪を燃やすために金の燭台の前に百万ドルかかるようなろうそくを買うわけです。そこに貴方がいて、それが経済のバランスなのです。

それが彼らの国家の動きです。物事が全てを取ってします。教会が全てを持っていくのです。

178 彼女はちょうど彼女の手にそれを持っています、それだけです。

彼女は、ユダヤ人とその契約のお金で、聖書は彼らがすべてを取ると言いました。そして彼は獣になる。彼は契約を破り、そのような女性の種の残りの部分を擦り落として裂き、口から水を噴出させて戦争を起こします。そして、泣きながら泣き叫んで歯噛みをするでしょう。花嫁は同時に栄光の内に結婚しています。見逃さないでください。友よ。神が私が助けられますよう、そこに居たいのです。どれだけかかろうと、そこに居たいのです。

179 さて、気が付いてください。起こっているのと同時に、これが起こるちょうど前に、地球上で、神が約束している間に。彼らの信条についての違いを主張している宗派のすべてが嫌悪感を与えています。彼は、真の御言葉の真の預言者を、神の元の御言葉と父親の信仰に戻し、人々の間で聖霊の力を引き出し、彼女を引き上げるというメッセージを送りました。これらの事の上に彼女を引き上げる力があるのです。

180 同じ御言葉は、イエス・キリストのことを、昨日、今日、永遠に同じであると宣言しています。「見よ、私は貴方と常に共にいる、終わりの時まで、そして、私がした仕事をあなたもするでしょう。あなた共にいるからです。しばらくしたら、彼らは私を見なくなる、彼らは自分たちで組織をして散らすからです。しかし、あなたは私を見て、私はあなたと共にいるでしょう。私はあなたの中にいても、完成に至ります。」そして、彼は完成後に怒りが吐き出されると言いました。あなたがたはそこにいます。

ああ、神よ!その白馬の騎士は誰ですか?あなたは盲目ではありません。

あなたはそれが誰であるかを見ます。それは欺かれた霊が上がりてきた反キリストです。

181 そうです、神はそれを繰り返し続けています。彼はそれを、白い馬と、弓と、矢なしで進む男として示しています。彼はハツタリです。彼には力がないのです。

あなたは言います、「教会の力…」どこにありますか?彼らは何をしますか?彼らは言います「私たちが元の教会だ。」元々の教会は悪魔を追い払い、病気を治し、死んだ人を良いが選らせ、全て他のこともしました。それは今どこにありますか?矢のない弓のようですね。

182 しかし、あなたは、キリストが来ると、剣が稲妻のように口から出て行くのを見ます。それは出て行き、敵を奪い、悪魔を投げ捨てた。それは他のすべてを切り捨てます。そして来て、彼の身ぶりは血に浸され、彼の太ももには「神の御言葉」と書かれていました。アーメン。彼は天国から、彼の軍隊と一緒に来るのです。

183 その白い馬の騎士は常に地上にいました。彼は反キリストから変わるでしょう。彼はそれを行い、偽預言者になります。そうです、彼は最初に反キリスト、霊出始めました。彼は偽預言者になります。悪魔が追い出されると、彼は悪魔にも変身します。3つの舞台、始まりは、悪魔の霊。彼は偽の預言者、偽の教義の教師になります。

次では、彼は非常に悪魔のように、自分の体に生まれ変わります、そうです。そこに彼がいます。そして同時に、この悪魔は天から落ちて、人の肉体になると、聖霊は上ってきて変身した男に下ります。なんという時なのでしょう。

184 明日の夜、神のご意志ならば、第2の封印を。彼を愛していますか?[会衆は言う「アーメン」-編集者]。さて、信じますか?[会衆は言う「アーメン」-編集者]。(私はテープを止めました)それから聞く予定にしてい

ます、御ぞんじよいの様に、しかし期待しています。何かを教えてあげましょう、兄弟。私は今、私の人生の中で一度だけのことを知っています、なぜその霊が何時も組織反対したかの理由について。

185 私はこれらのことを私に示してくれたので、主なる神に感謝しています。

私はそれが真理であることを知っています。そこに明かされています。

ここで、彼は年を経て正しく降りて、ここに出て来て、彼ができるほど完全に完璧にここに姿を現します、そうです。それが彼です。さあ、我々はそれに騙されていない。今、あなたの目が開かれましたそのようなものから離れてください。あなたのすべての心をもって主を愛し、正しい彼と一緒にいてください。かしこまりました。バビロンから出て来ます。

[テープの空白部分-編集者-]。

3つのこと：御霊によって啓示された、絵が示す、御言葉によって証明されること。それは御言葉です。

これらのハンカチに御言葉を出させてください、主よ。病気を癒す。存在するすべての病気の人、御父のことを書いて呼び出す人たちを癒してください。

主よ。今度は別の癒しがあり、癒しの集会に行きます。

しかし、主よ、それは魂です。

私たちはそれをただ指示にしたいです、主よ。そして、これらのことが来なければなりません。私たちは祈っています、神様、あなたは今言われたこれらの言葉を受け取り、人々に本当のものにすることを願っています彼らにそれを見させてください、主よ。時間のために挟まれている、そして、あなたが知っている、父、そう聖霊がそれを受け取り、それを心の中に明らかにすると言われたことを十分に祈ってください。聖書を書いている人は、彼らを勉強してもいいでしょう。テープを作ったり、聞いたりしている人は、それを勉強してもいいでしょう。自分の解釈を今に置くのではなく、ただ御言葉を研究するだけです。それは御父に許諾します。イエス・キリストの御名で、私はそれをすべてあなたとあなたの栄光のために捧げます。

アーメン

[弟は預言する。会衆は歓喜する]アーメン。ああ、主よ、ありがとう。[会衆は喜んで続けています。]ああ！

彼を知らない誰かがここにいるなら、許して今それをやってください。その真つ直ぐな強い叱責を聞いてください。

あなたがこれまでに何回もこの封印を壊していたらどうしたらいいでしょう。

もしそれがそこに送られた御使いだったら、私は(ほとんど)地上から爆破されました。先日、3人の証人が近くに立っていたとき、そこに立っていました。

私があなたに行く前に言ったことは、「爆発して私を送ってくれるだろう。」そして、私は7人の御使いに巻き込まれ、東に来ました。

私は地面から私を揺らしたがつている。

正しいのですが、ノーマン兄弟、フレッド・ソスマン兄弟は、起こったときに私と一緒にツーソンの上に立っていましたか？そして…、私の服のいがをはずして、まさにそのビジョンが言ったことを設定しました。そしてそれはツーソンへ向かう南でした。そうであれば、フレッド兄弟、ノーマン兄弟、あなたの手を挙げてください。彼らはそこにいる。あなたの足元に立って、あなたがそこにいたことを人々が見ることができるよう、証人。私は人生でそのようなものは一度も聞いたことがありません。

そしてすぐに彼らは狩りをしなかった。私は翌朝、フレッドに懇願した。彼はこれを知らない。私は彼に狩りをして欲しいと言って、「それをやってください。やってください。」

しかし、彼は言いました、彼はそこで私に言いました、「彼はそれをしません。あなたはすぐに西部に行きなさい。」

そして7人の御使いたち！最初の爆発、彼女は開いた。うん。

もしあれば？私たちは最後の1時間です。そうですか？

私は大好きです…

(私は彼を礼拝しましょう)

私は彼を愛しています。

私は最初に私を愛していたので

(私を立てましょう)

私の救いを買いました。

カルバリーの木の上で(賛美歌詞-翻訳者-)

さあ私たちの心を今清めましょう、兄弟よ、私たちの頭を垂れましょう。

私の姉妹、私はあなたにひどい話をしましたが、私は神の愛でそれをしました。私はあなたを愛していたので、私はそれをしました。長い髪を着用し、ドレッシングと正しいの動作について。私は敬虔な愛のためにそれをしました。今、私たちの良心を純粋なものにしましょう。神が漂白しているうちに。

午前中に神の御告白が遅すぎるかもしれません。今、私たちの良心を純粋なものにしよう。彼は踏み出すかもしれない。兄弟たちのように出て来るこれらの事柄は、仲裁廷の終わりかもしれません。あなたはこれを考えましたか？まあ、私はそれが分かりません。私はそうではないと言いません。しかし、もしそれがあれば？もしあれば？それはどうですか？それ以上の贖いはありません。その時、それはなくなっていました。私はそうではないと望みます。

私は彼を愛しています

(私を浄化してください。)

彼は最初に私を愛し

私の救いを買いました。

カルバリーの木の上で(賛美歌詞-翻訳者-)

主の御名に祝福しましょう。神に栄光。私はその甘い感じが大好きです。

それを感じませんか？ちょうど聖霊があなたの周りにいて、周りを歩いているように。ああ、すごいよ！ああ、彼の慈悲を考えてください！

私は彼を愛しています。

私は彼を愛しています。

なぜなら、彼は私を最初に愛し、私の救済を購入したからです。

カルバリーの木の上で。(賛美歌詞-翻訳者-)

忘れないでください、友よ。忘れないで下さい。一緒に家に持ち帰りましょう。それと一緒に。あなたの枕の下においでください。忘れないでください。それと一緒に居ましょう。神が今あなたを祝福しますように。

あなたの牧師である、ネヴィル兄弟。



www.messagehub.info

伝道者

ウィリアム・マリオン・ブランハム

"...第七の御使いが吹き鳴らそうとしているラッパの音が響くその日には..." 黙示録 10:7